

## 南知多町地域公共交通活性化・再生協議会 会議日程

日 時 令和7年1月10日（金）  
午前10時10分から

場 所 南知多町役場3階 大会議室

### 1. あいさつ

### 2. 議 題

（1）南知多町地域公共交通計画（素案）について 【資料1】

（2）令和6年度補助系統別事業評価票（南知多・美浜環状線）について 【資料2】

（3）地域公共交通確保維持改善事業に関する自己評価等について 【資料3】

### 3. 報告事項

（1）町民感謝デーの利用状況について 【資料4】

### 4. そ の 他

南知多町地域公共交通活性化・再生協議会委員名簿

資料1

令和6年4月1日

(敬称略・順不同)

|    | No.  | 区 分       | 役 職 名                                   | 委 員 名 |
|----|------|-----------|-----------------------------------------|-------|
| 1  | (1)  | 住民又は利用者代表 | 社会福祉協議会会長(監事)                           | 大森 宏隆 |
| 2  |      |           | 内海地区区長会長                                | 竹内 文仙 |
| 3  |      |           | 豊浜地区区長会長                                | 齋藤 徳三 |
| 4  |      |           | 師崎地区区長会長                                | 黒田 吉生 |
| 5  |      |           | 篠島地区区長代表                                | 福林 満幸 |
| 6  |      |           | 日間賀島地区区長代表(副会長)                         | 宮地 重之 |
| 7  |      |           | 南知多町まちづくり協議会会長                          | 二宮 達好 |
| 8  |      |           | 南知多町観光協会会長                              | 鈴木 甚八 |
| 9  | (2)  | 学識経験を有する者 | 学識経験者                                   | 樋口 恵一 |
| 10 | (3)  | 町 議 会     | 南知多町議会議長(離島代表)                          | 鈴木 浩二 |
| 11 |      |           | 南知多町議会副議長                               | 片山 陽市 |
| 12 |      |           | 南知多町議会総務建設常任委員会委員長兼<br>地域公共交通対策特別委員会委員長 | 榎戸 陵友 |
| 13 |      |           | 南知多町議会総務建設常任委員会副委員長                     | 山本 優作 |
| 14 | (4)  | 自動車輸送事業者  | レスクル(株)代表取締役                            | 鶴田 誠  |
| 15 | (5)  | 定期航路事業者   | 名鉄海上観光船(株)取締役総務部長兼運航営業部長                | 吉見 文宏 |
| 16 | (6)  | 鉄道事業者     | 名古屋鉄道(株)地域連携部 交通サービス担当課長                | 高井 勇輔 |
| 17 | (7)  | 愛知県バス協会   | 公益社団法人愛知県バス協会専務理事                       | 小林 裕之 |
| 18 |      | 愛知県タクシー協会 | 愛知県タクシー協会知多支部長<br>(名鉄知多タクシー(株))         | 藤田 和弘 |
| 19 | (8)  | 運転手代表     | レスクル(株)運転手代表                            | 坂下 友太 |
| 20 |      |           | 名鉄知多タクシー労働組合執行委員長                       | 大原 友則 |
| 21 | (9)  | 全日本海員組合   | 全日本海員組合名古屋支部長                           | 山原 始  |
| 22 | (10) | 国土交通省     | 国土交通省中部運輸局海事振興部旅客課長                     | 服部 直人 |
| 23 | (11) |           | 国土交通省中部運輸局愛知運輸支局<br>首席運輸企画専門官           | 宮川 高彰 |
| 24 | (12) | 半田警察署     | 半田警察署交通課長                               | 平岡 友幸 |
| 25 | (13) | 愛 知 県     | 愛知県都市交通局交通対策課担当課長                       | 石屋 義道 |
| 26 | (14) |           | 愛知県総務局総務部市町村課地域振興室長                     | 今井 繁樹 |
| 27 | (15) |           | 愛知県知多建設事務所維持管理課長                        | 伴野 誠司 |
| 28 | (16) | 南知多町      | 南知多町長(会長)                               | 石黒 和彦 |
| 29 | (17) |           | 総務部長(会計)                                | 大岩 幹治 |
| 30 | (18) |           | 建設経済部長                                  | 田中 直之 |
| 31 | (19) | 町長が認める者   | 日間賀島観光協会会長                              | 鈴木 安博 |
| 32 | —    | オブザーバー    | 美浜町地域戦略課長                               | 下村 充功 |
| 33 | —    |           | 内海高等学校校長                                | 竹内 尊司 |
| —  |      | 事務局       | 防災交通課長                                  | 石黒 俊光 |
| —  |      |           | 防災交通課 副主幹                               | 内田 健二 |
| —  |      |           | 防災交通課 主任主査                              | 滝本 恭史 |

## 第 2 回 南知多町地域公共交通活性化・再生協議会における 地域公共交通計画（骨子）に関する主な意見と対応

| N0              | 意見の概要                                                                                                           | 対応                                                                                                |
|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 地域公共交通計画の修正について |                                                                                                                 |                                                                                                   |
| 1               | 目指す姿について、今後の方向性は交通事業者だけでなく地域とも連携していくという方向なので、「みんなで作る」ということを追加するのがスローガンとしてふさわしいのではないか。                           | 目指す姿は、「みんなが望み選ばれる地域交通のあるまちをみんなでつくる」に変更。                                                           |
| 2               | 数値目標の「3関係者の共創による利用を支える取組の構築」は、「海っ子バスの収支率」「利用者1人あたり公的資金投入額」となっているが、直接的に関わる指標になっていない。デジタルチケット利用率、活動数などでも良いのではないか。 | 収支率、公的資金投入額は、数値目標ではなく、毎年確認する指標として「6評価・改善方法」に記載。<br>「3関係者の共創による利用を支える取組の構築」の数値目標は、「電子チケットの利用率」に変更。 |
| 駅での駐車場整備について    |                                                                                                                 |                                                                                                   |
| 3               | アンケートの意見にあるように、駅での送迎用あるいはパークアンドライド駐車場が足りないのかどうか。                                                                | 雨の日などは、送迎車が混雑している。パークアンドライド駐車場は駅周辺にある。<br><br>課題として認識しているが、すぐに対応できないことから、まずは公共交通利用を促進していく。        |
| 4               | 駅へのアクセスは、車対応を重視すると公共交通の利便性、利用に影響する。公共交通での結節を第一に考える必要がある。                                                        |                                                                                                   |
| 5               | 内海駅にパークアンドライド駐車場を整備すれば、内海駅の鉄道利用が増えるかもしれない。鉄道利用促進の観点からの検討が必要。                                                    |                                                                                                   |
| アンケート調査について     |                                                                                                                 |                                                                                                   |
| 6               | アンケート調査については、アンケートが返って来てない人は、現状に対して良いと考えていると判断するのかどうか。                                                          | アンケートに回答して頂いてない方は、公共交通に興味がないと判断せざるを得ない。<br><br>高齢者については、サロンやタウンミーティングでも意見を把握している。                 |

|                  |                                                                         |                                                                                     |
|------------------|-------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 7                | 若い人が大人になったときに定住してもらうため、未来的なことを考える必要がある。                                 | 定住促進に向けて公共交通は重要。子供たちにバスに乗って体験してもらうため、小中学生、学生の運賃補助を実施している。<br>交通政策と定住促進策とを調整しながら進める。 |
| 交通空白地対応などの施策について |                                                                         |                                                                                     |
| 8                | 交通空白地への対策をとってほしい。観光客対応としては、岩屋寺、内福寺まで駅から歩いて行く人がいるので、対応を考えてほしい。           | 地域特性を踏まえて、今後検討する。                                                                   |
| 9                | 豊丘地区の利便性を良くしてほしい。MaaSの構築。内海駅での海っ子バスの遅れの改善。一日券の販売方法を検討してほしい（ドライバーの負担軽減）。 | 地域特性を踏まえて、今後検討する。<br>一日券については、紙での販売が多いので、アプリのPR、販売所の設置などを検討したい。                     |
| 10               | 一日券については、アプリでの販売をPRしてほしい。                                               |                                                                                     |
| 海上交通部会について       |                                                                         |                                                                                     |
| 11               | 海上交通の部会メンバーの想定を教えてください。                                                 | 海上交通の関係者を考えているが、現段階では決まってない。今後、検討する。                                                |



# 南知多町地域公共交通計画（素案）

令和6年12月

南知多町

## 目 次

|     |                           |    |
|-----|---------------------------|----|
| 1   | 本計画の目的と位置づけ .....         | 1  |
| 1-1 | 計画の目的.....                | 1  |
| 1-2 | 計画の区域.....                | 1  |
| 1-3 | 計画の期間.....                | 1  |
| 1-4 | 上位・関連計画における位置づけ.....      | 1  |
| 2   | 本町の概況と公共交通の現状 .....       | 2  |
| 2-1 | 本町の概況.....                | 2  |
| 2-3 | 公共交通の現況 .....             | 3  |
| 3   | 地域公共交通に関する課題 .....        | 6  |
| 3-1 | 地域特性からの課題.....            | 6  |
| 3-2 | 地域公共交通の利用実態からの課題.....     | 6  |
| 3-3 | 町民・観光客のニーズからの課題.....      | 7  |
| 3-4 | 持続可能な地域公共交通の形成に向けた課題..... | 8  |
| 4   | 計画の方針と目標 .....            | 9  |
| 4-1 | 基本方針（目指す姿） .....          | 9  |
| 4-2 | 基本目標.....                 | 9  |
| 4-3 | 数値目標.....                 | 11 |
| 4-4 | 将来ネットワーク .....            | 12 |
| 5   | 目標を達成するための事業及び実施主体 .....  | 14 |
| 5-1 | 事業概要.....                 | 14 |
| 5-2 | 個別事業の概要 .....             | 15 |
| 6   | 評価・改善方法 .....             | 20 |
| 6-1 | P D C Aサイクルの構築.....       | 20 |
| 6-2 | 評価の方法及びスケジュール .....       | 20 |
| 6-3 | 評価・改善のためのデータ収集 .....      | 21 |

# 1 本計画の目的と位置づけ

## 1—1 計画の目的

本町の地域公共交通は、鉄道、海っ子バス、航路及びタクシーで構成されており、通勤・通学者や高齢者などの町民及び観光客の移動に不可欠な移動手段として機能しています。近年、高齢化の進展、新型コロナウイルス感染症を契機とした生活様式の変化、燃油価格高騰、運転手不足の深刻化などにより、地域公共交通を取り巻く環境は厳しさを増しています。

本町では、平成22年10月に海っ子バスの運行を開始し、運賃低廉化を目指し愛知県下で最も早くゾーン制運賃を導入しました。また、ルート・ダイヤの変更、利用促進活動など、様々な施策を行ってきました。令和5年10月には、海っ子バス南知多・美浜環状線に大幅なルート変更と運賃変更を行い、小中学生及び学生への運賃補助事業等を導入するなど、持続可能な地域公共交通の構築に努めてきました。

今後も、現行の地域公共交通の課題を改善し、利便性が高く、持続可能な地域公共交通体系を構築するため、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（以下、「地域交通法」という。）にもとづく「南知多町地域公共交通計画」を策定するものです。

## 1—2 計画の区域

計画の区域は、鉄道、バス、船の連携を図り、一体的に進める必要があるため、本町全域を基本とし、美浜町にある河和駅、知多厚生病院等へのバス路線沿線も含みます。

## 1—3 計画の期間

本計画は、令和7年10月～令和12年9月の5年間とします。

## 1—4 上位・関連計画における位置づけ

本計画は、第7次南知多町総合計画を上位計画として、関連する計画との整合を図りながら公共交通に関する基本計画を定めたものです。

### 【第7次総合計画】

《将来イメージ》「絆・選ばれる理由があるまち～Bonding, reason to be chosen～」

《基本理念》「暮らし続けられるまちを“あなた”とつくる」

としており、これを実現するため、地域公共交通の利便性向上と利用促進を図り、生活に不可欠な移動手段が十分に確保され、町民が住み続けたいと思えるまちづくりを目指しています。

## 2 本町の概況と公共交通の現状

### 2-1 本町の概況

#### (1) 人口特性

本町の人口は昭和40年以降減少が続いており、令和2年には16,617人です。世帯数はこれまで増加傾向でしたが、平成22年以降は減少に転じています。

日本全体で人口減少が進む中、本町も人口減少傾向が継続し、国立社会保障・人口問題研究所の推計では、令和32年時点で約7,500人となっています。

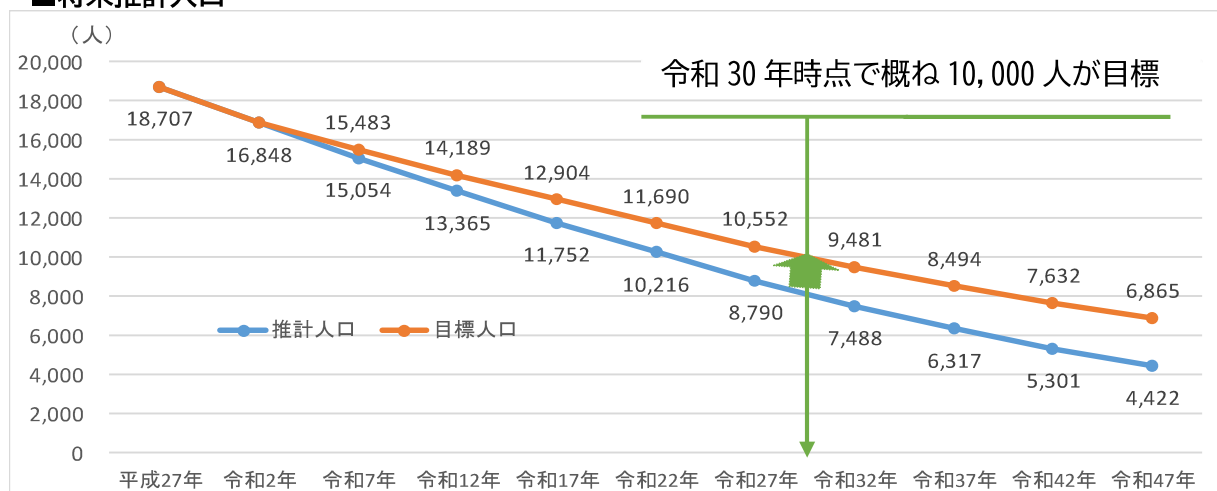
本町の第7次総合計画では人口減少の抑制に努めるものとし、令和30年時点で概ね10,000人の人口を維持することを目標としています。

#### ■人口、世帯数の推移



出典：国勢調査

#### ■将来推計人口



出典：第7次総合計画

### (1) 公共交通ネットワーク

## ■公共交通ネットワーク

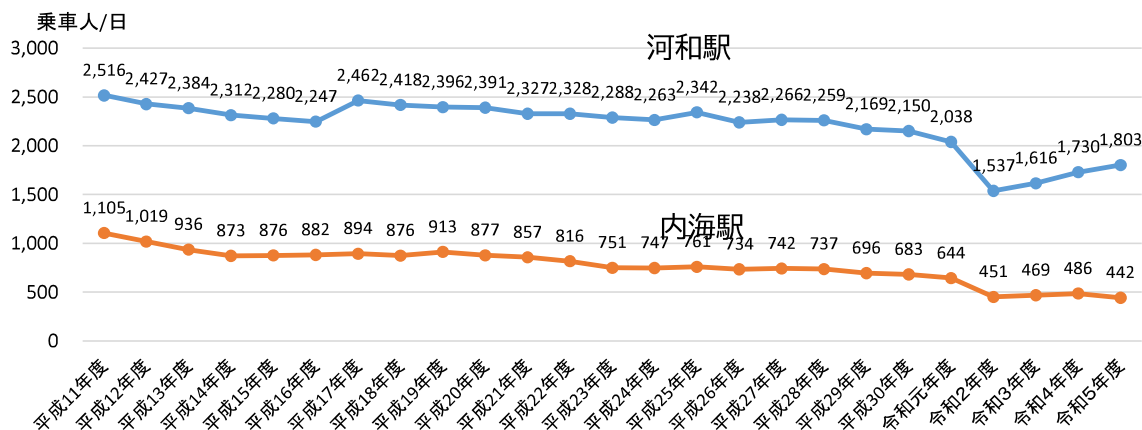


## (2) 公共交通の状況

### ①鉄道

名鉄の内海駅、河和駅の利用者数は減少傾向です。コロナ禍による減少からは回復傾向ですが、コロナ前の水準には戻っていません。

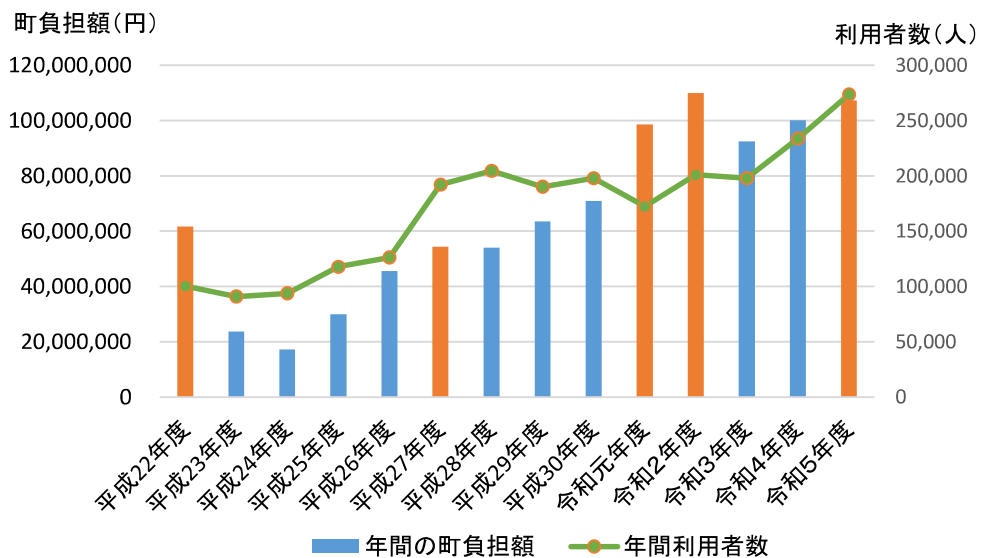
#### ■内海駅、河和駅の乗車人員の推移



### ②海っ子バス

海っ子バスの利用者数は、運行当初は年間約 10 万人でしたが、運行本数の増便、町民及び観光利用の促進策などにより、令和 5 年度には約 25 万人まで増加しています。ただし、町の費用負担額も増加しており、令和 3 年度には 1 億円近くまで達しましたが、環状線への再編、運賃値上げにより令和 5 年度にはバス購入経費を除くと約 8,700 万円まで減少しています。

#### ■海っ子バスの町の費用負担額と利用者数の推移



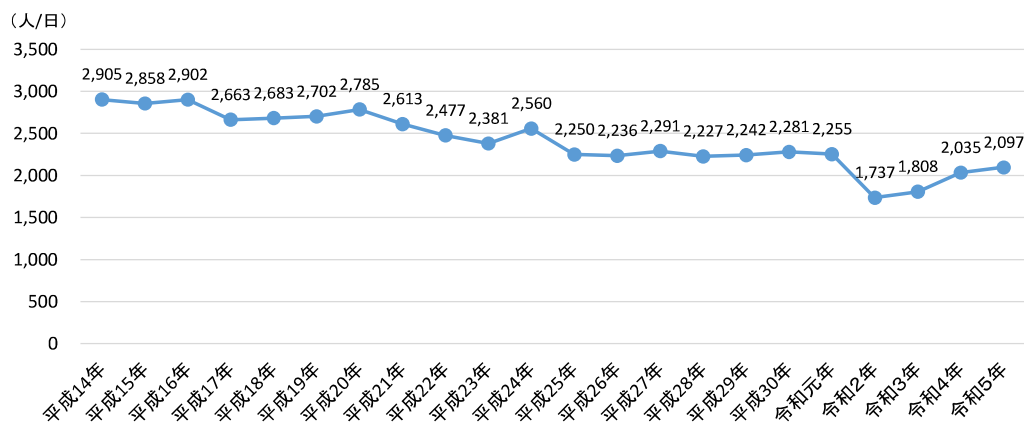
※ ■の年は、バス購入費用も含まれている。

※集計は4月～翌年3月まで。

### ③高速船、カーフェリー

師崎港から篠島、日間賀島まで高速船及びカーフェリーが運航しています。師崎港の高速船の1日当たり利用者数は微減傾向が続いており、令和3年以降はコロナ禍による減少から回復傾向ですが、コロナ前の水準には戻っていません。

■師崎港の1日当たりの高速船利用者数の推移



出典：愛知県統計年鑑及び名鉄海上観光船(株)

### ④海上タクシー

海上タクシーは篠島に2事業者、日間賀島に2事業者あり、緊急時を含む島民の生活の足と観光を支える役割を併せ持っています。日間賀島では5事業者から2事業者に減少してしまい、緊急時における懸念の声があります。

### ⑤タクシー

タクシーは、篠島に島内乗合タクシーが1事業者あります。町内の半島部にはタクシー事業者の営業所はなく、町外から呼び出すことになります。

### ⑥日間賀島自家用有償旅客運送事業

日間賀島では、一般社団法人日間賀島観光協会が自家用有償旅客運送（交通空白地有償運送）「ぐるりーバス」を運行しており、利用者数は増加傾向です。

### ⑦その他

介護施設、宿泊施設などの送迎バス、スクールバスが運行しています。

## (3) 公共交通支援制度

高齢者運転免許証自主返納支援事業、海っ子バスの運賃助成（小中学生海っ子バス運賃補助事業、学生海っ子バス通学定期券購入補助事業）、離島交通費助成事業補助金、障がいのある方の移動・外出支援事業、南知多中学校通学に係る日間賀島と師崎港間の定期券付与、篠島・日間賀島から高校へ通学する高速船代の補助、介護保険離島交通費助成などを行っています。

## (4) 実態調査

町民、観光客、海っ子バス利用者からの意見を把握するため、町民アンケート調査、観光客WEBアンケート調査、高齢者サロンでの参加者アンケート調査、一人暮らし高齢者の買物アンケート調査、海っ子バス利用者アンケート調査、タウンミーティングでの意見把握を実施しました。

## 3 地域公共交通に関する課題

### 3-1 地域特性からの課題

---

#### (1) 人口減少、高齢化の進行への対応

- ・本町の人口、世帯数は、ともに減少傾向です。
- ・高齢化が年々進行していることから、高齢者に優しい、移動しやすい交通環境を確保することが求められています。

#### (2) 観光、交流促進への対応

- ・町の主要産業である観光については、コロナ禍の影響により観光客数が大幅に減少し、令和4年になって回復傾向がみられますが、コロナ前の水準までは達していません。
- ・観光、商業などの回復と振興を図るには、南知多町に訪れる方の移動ニーズに対応した地域公共交通を確保することが重要です。

#### (3) 通学、通勤への対応

- ・本町の就業者の28.0%、通学者の78.7%は町外に通勤・通学しています。
- ・通勤・通学の足を確保し、本町への定住を促進するため、名鉄内海駅、河和駅での電車、バスとのスムーズな乗り継ぎができる地域公共交通ネットワークを確保することが必要です。

#### (4) 公共施設再配置への対応

- ・町内の公共施設については、個別施設ごとに再配置が進められています。
- ・今後、施設の再配置に対応して、新たな地域公共交通の導入などを検討する必要があります。

### 3-2 地域公共交通の利用実態からの課題

---

#### (1) 移動ニーズの変化への対応

- ・名鉄内海駅、河和駅の乗車人員及び海上交通利用者数は減少傾向であり、コロナ前の水準には戻っていません。一方、海っ子バスの利用者数は増加傾向でしたが、令和5年10月の大幅な路線再編（ルートは環状線に変更、運賃は値上げ）後は前年よりも減少しました。今後は、人口減少が進む中で利用者数が減少する危惧があります。
- ・コロナ禍を経たライフスタイルの変化やインターネットを利用した買い物の増加などによる移動需要の変化に対応し、地域公共交通利用の維持、確保を図っていく必要があります。

#### (2) 地域公共交通の担い手確保への対応

- ・地域公共交通を担う運転手などの不足が全国的な課題となっていますが、本町においても、運転手確保が課題の一つとなっています。また、海上タクシーは廃業する事業者が相次ぎ、事業継続が課題となっており、フェリーを始めとする船舶の更新も含めて海上交通を維持する取組が必要です。
- ・地域公共交通のサービス水準を維持するため、運行の効率化、自動運転技術の活用及び地域住民の協力体制などを検討する必要があります。



### 3-3 町民・観光客のニーズからの課題

---

#### (1) 鉄道利用の促進

- ・名鉄内海駅では、令和5年に運行本数の減少と名古屋方面への直通がなくなったことから、町民アンケートでは直通便の復活などの改善意見が多くなっています。利用者数は減少傾向のため早期の対応は困難ですが、MaaS※による利便性向上策など、利用者を増やす施策を推進することが必要です。

#### (2) 海っ子バス、高速船のサービスに対する不満への対応

- ・令和5年10月の海っ子バス再編（環状線による運行）により、利用者数は減少しました。  
豊浜・豊丘地区間の路線廃止や、師崎地区から乙方を経由することによる河和駅までの所要時間が増加したこと、朝通学時のバスが混雑すること、高齢者の運賃割引要望や運行サービスに対する不満の声などがあり、これらが減少した一因と考えられます。
- ・高速船については、運賃、運航時間帯、海っ子バスとの乗継、河和港と河和駅・知多厚生病院間のバス運行などについて不満の声があります。
- ・運行（運航）経費や運転手確保などの社会的課題があるものの、事業者などと調整し可能な改善策を検討していきます。

#### (3) 地域特性にあった移動手段確保

- ・高齢者などから、「海っ子バスを利用したいがバス停まで遠く歩いていけないため困っている」という意見があります。（町民アンケート、高齢者サロン参加者アンケート、タウンミーティング）
- ・一方、町民アンケート調査によれば、移動手段を確保する取組に対して約18%の方が協力したいと回答しています。
- ・海っ子バスで全ての地域、住民の移動を確保できないことから、地域特性に合わせて、新たな移動手段確保の取組についても検討が必要です。

#### (4) 観光利用の促進

- ・観光客へのアンケート調査によれば、目的地までの地域公共交通の切符と観光施設の入場券や割引がセットになったお得な企画切符、及びグルメ情報の提供についての要望が高くなっています。
- ・地域公共交通を利用した観光客のうち、バスを利用しなかった方の理由として「バスがあることを知らなかった」が2割弱あることから、海っ子バスのルート、ダイヤ及び観光施設の最寄りバス停などを適切に情報提供することが必要です。

※MaaS(マース:Mobility as a Service):

地域公共交通を含めた、自家用車以外の全ての交通手段による移動を1つのサービスとして捉え、シームレスにつなぐ移動の概念、またそれを目的としたサービス。

## 3-4 持続可能な地域公共交通の形成に向けた課題

---

### (1) MaaSによる利便性向上

- ・近年、デジタル技術を社会に浸透させ、人々の生活をより良いものに変革するDX（デジタルトランスフォーメーション）が進展しています。地域公共交通分野においては、MaaSの導入が進んでいます。
- ・本町では、町民の名古屋方面などへの移動や本町への観光客の地域公共交通利用を便利にし、利用を促すため、スマホアプリによるMaaS導入などにより、将来に渡って持続可能な地域公共交通を目指す必要があります。

### (2) リ・デザイン（再構築）の取組を促進

- ・地域公共交通は、単なる移動手段でなく、地域社会を支える重要なインフラであり、定住促進、観光振興などの多様な効果が見込まれ、地域活性化につながるものです。
- ・国では、地域公共交通の様々な課題に対して、地域の関係者と連携、協働して地域公共交通の利便性・生産性・持続可能性を高めるため、地域公共交通の「リ・デザイン」（再構築）※を進めています。
- ・海っ子バスの運行には多額の費用負担が必要ですが、鉄道・海っ子バス・海上交通・タクシーなどの地域公共交通が存在することによって発揮される多様な効果を高めるため、町、事業者、町民が連携して地域公共交通の維持、活性化に取り組む「共創」、MaaSなどのデジタル技術を実装する「交通DX」などを推進する必要があります。

### (3) 財政負担の軽減

- ・海っ子バスは、運行本数を維持し、様々なサービスを展開してきた結果、利用者数は増加してきています。しかし、運行経費の増加などにより町の費用負担は増加してきており、令和3年度には1億円近くまで増えました。
- ・令和5年10月の海っ子バス再編と運賃値上げにより、令和5年度の町の費用負担はバス購入費を除くと約8,700万円まで減少しましたが、町の財政には大きな負担となっています。
- ・現行のサービスを維持・発展させていくためには、利用者の増加などにより財政負担の軽減を目指す必要があります。

※地域公共交通の「リ・デザイン」（再構築）：

官民共創・交通事業者間共創・他分野共創の「3つの共創」、自動運転やMaaSなどデジタル技術を実装する「交通DX」、車両電動化や再エネ地産地消など「交通GX<sup>1)</sup>」を柱とした取組。目的は、地域の関係者の連携と協働を通じて、地域公共交通の利便性・生産性・持続可能性を高めることにある。

※交通DX（デジタル・トランスフォーメーション）：

デジタル技術を駆使して交通システム全体を革新し、移動の利便性、効率性、持続可能性を飛躍的に向上させようとする取組。

1) 交通GX（グリーン・トランスフォーメーション）

化石燃料をできるだけ使わず、クリーンなエネルギーを活用していくための変革やその実現に向けた交通施策、取組。

## 4 計画の方針と目標

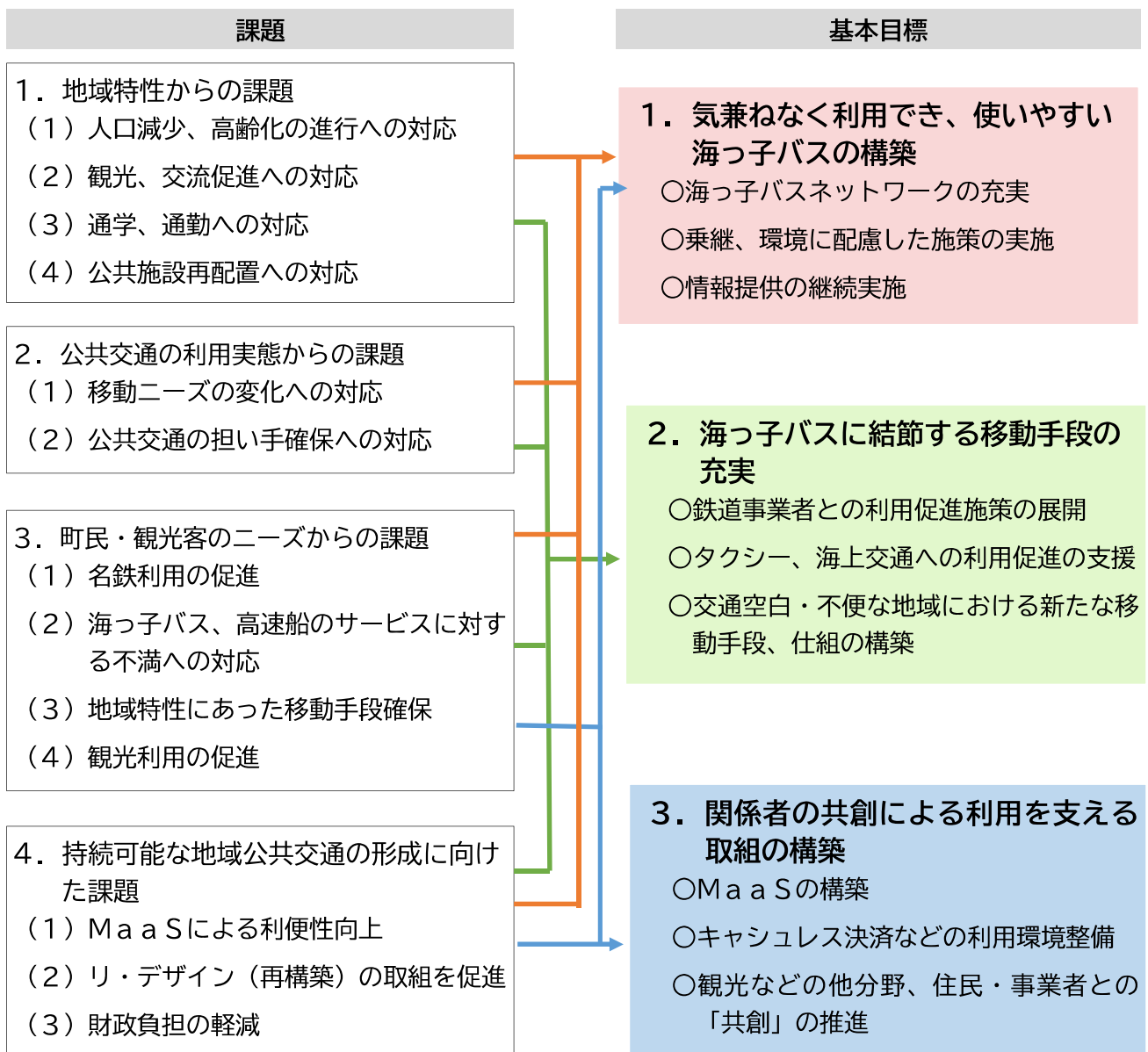
### 4-1 基本方針（目指す姿）

総合計画の将来イメージ「絆・選ばれる理由があるまち～Bonding, reason to be chosen～」及び基本理念「暮らし続けられるまちを“あなた”とつくる」の実現に向け、安心して住み続けられるまちをつくるため、町民や観光客が望み、選択してもらえる地域交通の実現を、関係者が協働して目指します。

みんなが望み選ばれる地域交通のあるまちをみんなでつくる

### 4-2 基本目標

公共交通に関する課題を踏まえ、本計画期間で達成する目標を次のように設定します。



## 基本目標１ 気兼ねなく利用でき、使いやすい海っ子バスの構築

- 利用実態、ニーズに合わせ、利用しやすく、持続可能な海っ子バスネットワークの最適化を目指します。
- 名鉄・高速船と海っ子バスとの乗継ぎに配慮したダイヤ調整、案内充実などにより利用促進を図ります。
- 環境に配慮した車両の導入（交通GX）、総合時刻表の作成やバスロケーションを活かしたデジタルコンテンツの充実などを進めます。

## 基本目標２ 海っ子バスに結節する移動手段の充実

- 鉄道事業者と連携し、鉄道とバスが連携した利用促進の取組を推進します。
- タクシー・海上交通を利用しやすい取組（アプリの構築など）を推進します。海上交通（高速船、フェリー、海上タクシー）については、関係者による利用促進施策の協議を行い、取組を推進します。
- 交通空白地や海っ子バスを利用しづらい地域については、関係者と連携し、新たな移動手段、仕組の構築に取組ます。地域住民と連携した取組などにより、住民が身近に感じ利用につながる公共交通を目指します。
- 日間賀島で運行している「ぐるりーバス」については、その継続・充実を支援します。

## 基本目標３ 関係者の共創による利用を支える取組の構築

- 名鉄、高速船、海っ子バス、タクシー、海上タクシー、レンタサイクル及び町内施設などと連携したMaaSの構築を推進します。観光客向けには、公共交通の切符のほかに、グルメ情報の提供と割引など、利用したくなる仕組みを構築し、効果的に情報発信します。
- キャッシュレス決済を推進し、利用しやすい環境をつくれます。
- 観光などの他分野と連携した取組により、町民や観光客が利用しやすく、魅力的な公共交通をつくれます。また、住民・事業者との共創により、地域公共交通の認知度、魅力度を高め、利用促進につなげます。

## 4-3 数値目標

基本目標ごとに、数値目標を次のように設定します。

### ■基本目標1 気兼ねなく利用でき、使いやすい海っ子バスの構築

| 目標指標      | 現況及び目標値          |                       |                                   |
|-----------|------------------|-----------------------|-----------------------------------|
|           | 現況（基準）<br>R 6 年度 | 目標値<br>R 11 年度        | 設定方法・資料                           |
| 海っ子バス利用者数 | 271,044 人        | 300,000 人<br>(10.7%増) | ・資料はカウンターデータ<br>(前年 10 月～当該年 9 月) |
| 利用者不満度    | 15.3%            | 10.0%以下               | ・資料は海っ子バス利用者アンケート                 |

### ■基本目標2 海っ子バスに結節する移動手段の充実

| 目標指標           | 現況及び目標値 |                  |                |                                                    |
|----------------|---------|------------------|----------------|----------------------------------------------------|
|                | 場所      | 現況（基準）<br>R 6 年度 | 目標値<br>R 11 年度 | 設定方法・資料                                            |
| 鉄道・船舶の利用者数（年間） | 名鉄内海駅   | 325,439 人        | 前年より増加         | ・年間乗降者数<br>・基準は R 5 年度<br>(4 月～翌年 3 月)<br>・資料は名鉄   |
|                | 名鉄河和駅   | 1,318,342 人      | 前年より増加         |                                                    |
|                | 師崎港の高速船 | 765,362 人        | 前年より増加         | ・年間乗降者数<br>・基準は R 5 年<br>(1 月～12 月)<br>・資料は名鉄海上観光船 |
| 地域公共交通の人口カバー率  | -       | 73.6%            | 80.0%          | ・国勢調査メッシュ人口で算出<br>・R11 年度に算定。                      |

### ■基本目標3 関係者の共創による利用を支える取組の構築

| 目標指標       | 現況及び目標値          |                |                                                                             |
|------------|------------------|----------------|-----------------------------------------------------------------------------|
|            | 現況（基準）<br>R 6 年度 | 目標値<br>R 11 年度 | 設定方法・資料                                                                     |
| 電子チケットの利用率 | 8.1%             | 15%            | ・前年 10 月～当該年 9 月の集計<br>・電子チケット収入額÷運賃収入額<br>(運賃収入には、補助金、広告収入、手数料を含まず、運賃収入のみ) |

## 4-4 将来ネットワーク

公共交通ネットワークを構成する路線の機能別階層を設定し、その階層ごとに必要とされるサービスを提供します。

### ■公共交通の役割とサービス水準、確保・維持策

|      | 対 応                        | 役 割             | 利用目的   | サービス水準                      | 確保・維持策                     |
|------|----------------------------|-----------------|--------|-----------------------------|----------------------------|
| 広域幹線 | 鉄 道（名古屋鉄道）                 | 広域移動            | 多目的    | 朝から夜間まで、1 時間に数便の運行本数        | 交通事業者と協議の上、一定以上の運行水準を確保    |
| 幹線   | 海っ子バス                      | 町内移動及び鉄道駅、航路と連絡 |        | 朝から夜間まで、概ね 1 時間に 1 便以上の運行本数 | 地域公共交通確保維持事業（幹線補助）を活用      |
|      | 航路（名鉄海上観光船）                | 海っ子バス及び鉄道と連絡    |        |                             | 交通事業者と協議の上、一定以上の運行水準を確保    |
| 支線   | タクシー<br>海上タクシー<br>自家用有償運送等 | バス利用困難な移動に対応    | 買物・通院等 | 随時の運行あるいは昼間の一定時間帯での運行       | 交通事業者等と連携した取組により一定以上の需要を確保 |

### ■地域公共交通確保維持事業（幹線補助）の必要性

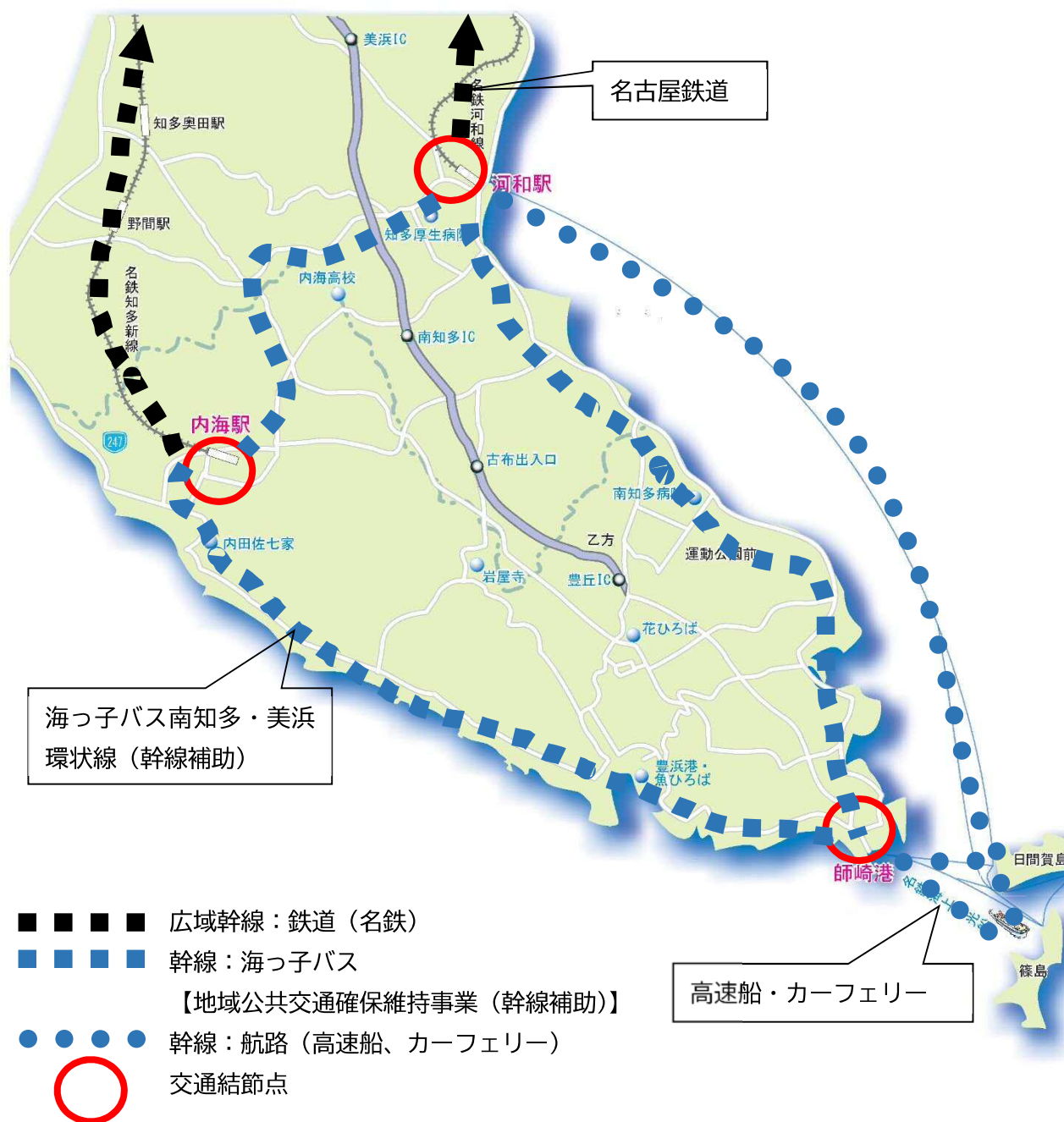
海っ子バスは、町内の内海駅、師崎港、役場等の拠点間及び町外の河和駅、知多厚生病院を連絡し、通勤通学、買物、通院等の日常生活行動に加えて、町内への観光などの多様な目的での移動を担っています。内海駅、河和駅では鉄道と、師崎港、では航路と連絡し、地域の公共交通ネットワークを構築する上で特に重要な役割を担っています。

海っ子バスは運行赤字であり、行政及び交通事業者の運営努力だけでは路線の維持が難しいため、地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する必要があります。

### ■補助系統に係る事業及び実施主体の概要

| 路線名                | 起点  | 経由地     | 終点  | 事業許可区分 | 運行態様   | 実施主体             | 補助事業の活用                |
|--------------------|-----|---------|-----|--------|--------|------------------|------------------------|
| 海っ子バス<br>南知多・美浜環状線 | 師崎港 | 河和駅・内海駅 | 師崎港 | 4 条乗合  | 路線定期運行 | 南知多町（運行は交通事業者委託） | ・ 幹線補助<br>・ 車両購入減価償却補助 |

## ■公共交通ネットワーク図



- 海っ子バス沿線の交通空白・不便地域において、新たな移動手段を検討、導入
- 日間賀島「ぐるりーバス」（自家用有償旅客運送）の継続・充実の支援
- タクシー、島内乗合タクシー、海上タクシーの維持を支援

## 5 目標を達成するための事業及び実施主体

### 5-1 事業概要

目標を達成するため、以下の事業を実施します。

赤字は重点施策

| 目標                        | 事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|---------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 気兼ねなく利用でき、使いやすい海っ子バスの構築 | <b>1-1 ニーズに対応した海っ子バスの形成</b><br>○海っ子バスのルート、バス停などのネットワーク最適化<br><b>1-2 交通結節点での乗継利便性の増進</b><br>○鉄道・海上交通と海っ子バスとのダイヤ調整<br>○内海駅・河和駅、師崎港での案内充実<br><b>1-3 環境に配慮した車両導入</b><br>○車両更新に合わせて、電動バスなどの導入<br><b>1-4 総合時刻表の作成、デジタルコンテンツの充実</b><br>○時刻表改訂版の作成、配布<br>○バスロケーションシステムを活用した案内充実                                        |
| 2 海っ子バスに結節する移動手段の充実       | <b>2-1 鉄道事業者との利用促進施策の展開</b><br>○鉄道とバスが連携した利用促進施策の取組推進<br><b>2-2 タクシー、海上交通への利用促進の支援</b><br>○誰もが利用しやすい取組の推進（アプリの構築など）<br>○海上交通利用促進施策の協議、取組の推進<br>（海上タクシーの担い手確保、フェリー等の船舶更新など）<br><b>2-3 交通空白・不便地域における移動手段の確保</b><br>○交通空白地や海っ子バスを利用しづらい地域における新たな移動手段の検討、導入促進<br>○日間賀島ぐるりーバスの継続・充実の支援<br>（広報の強化、運行期間の拡大、運行方法の検討など） |
| 3 関係者の共創による利用を支える取組の構築    | <b>3-1 M a a S の構築</b><br>○鉄道、海上交通、海っ子バス、タクシー、海上タクシー、レンタサイクル等及び町内施設などが連携したM a a S の構築<br>○観光客への情報提供<br><b>3-2 利用環境の整備</b><br>○キャッシュレス決済の推進<br><b>3-3 タウンミーティングの継続実施</b><br>○「海っ子バスを考える会」による意見把握<br><b>3-4 公共交通利用促進イベントの実施</b><br>○海っ子バス町民感謝デー（海っ子バス無料デー）などの実施<br><b>3-5 運転免許証自主返納の促進</b><br>○運転免許証自主返納のP R     |



## 5-2 個別事業の概要

### 目標1 気兼ねなく利用でき、使いやすい海っ子バスの構築

#### 1-1 ニーズに対応した海っ子バスの形成

|        |                                                                                   |
|--------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| 概要     | タウンミーティング、海っ子バス利用者アンケートにおける意見などを踏まえ、利用者ニーズに対応したルート変更、運行ダイヤ調整を行い、ネットワークの最適化を目指します。 |
| 実施主体   | 南知多町、レスクル（株）                                                                      |
| スケジュール | 令和7年度から実施                                                                         |

#### 1-2 交通結節点での乗継利便性の増進

|        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 概要     | <p>交通結節点における乗継利便性を高め、利用者の満足度向上、利用者数の増加につなげるため、次の施策を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○鉄道・海上交通と海っ子バスとの運行ダイヤ調整<ul style="list-style-type: none"><li>・現行の海っ子バスの運行ダイヤは、内海駅、河和駅において特急などと連絡することを主としながらも、師崎港の高速船との乗り継ぎにも配慮します。</li></ul></li><li>○内海駅・河和駅、師崎港での公共交通案内の充実<ul style="list-style-type: none"><li>・鉄道・高速船と海っ子バスとの乗り継ぎのわかりやすい案内に努めます。</li></ul></li><li>○内海駅・河和駅、師崎港におけるバリアフリーの促進<ul style="list-style-type: none"><li>・内海駅では、利用者数がバリアフリー設置基準を満たしていないことから、設置基準を満たせるよう利用者数を増やす取組を推進します。</li></ul></li></ul> <p>また、河和駅では、美浜町と連携して同町運営の巡回ミニバスとの乗継利便性向上を図ります。</p> |
| 実施主体   | 名古屋鉄道（株）、名鉄海上観光船（株）、南知多町、美浜町                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| スケジュール | 令和7年度から実施                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |

#### 1-3 環境に配慮した車両導入（交通GX）

|        |                                                              |
|--------|--------------------------------------------------------------|
| 概要     | 地球環境問題の深刻化に対応し、より環境負荷の小さい公共交通とするため、車両更新に合わせて、電動バス等の導入を推進します。 |
| 実施主体   | 南知多町、レスクル（株）                                                 |
| スケジュール | 令和7年度以降、車両更新に合わせて実施                                          |

#### 1-4 総合時刻表の作成、デジタルコンテンツの充実

|        |                                                                                                                                                |
|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 概要     | これまで海っ子バス、鉄道、高速船の路線図・時刻表を掲載した総合時刻表を作成していますが、路線の変更や運行・運航ダイヤの変更等に合わせて、時刻表の改訂版を作成し、町民、町内の宿泊・飲食施設、駅等に配布します。また、バスロケーションシステムを活かして、デジタルコンテンツの充実を図ります。 |
| 実施主体   | 南知多町                                                                                                                                           |
| スケジュール | 令和7年度から実施                                                                                                                                      |

## 目標2 海っ子バスに結節する移動手段の充実

### 2-1 鉄道事業者との利用促進施策の展開

#### 重点施策

|        |                                                              |
|--------|--------------------------------------------------------------|
| 概要     | 鉄道事業者と連携し、海っ子バス・高速船なども利用できる企画切符の発行など、公共交通の利用促進につながる施策を展開します。 |
| 実施主体   | 名古屋鉄道（株）<br>南知多町                                             |
| スケジュール | 令和7年度実施内容の検討・実証、令和9年度から実施                                    |

### 2-2 タクシー、海上交通への利用促進の支援

#### 重点施策

|        |                                                                                                                  |
|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 概要     | タクシー、海上交通を誰もが利用しやすくするため、アプリの構築などに取組ます。<br>高速船・海上タクシーの担い手確保、フェリー等の船舶更新などを協議し、海上交通の利用を推進するため、関係者による部会を設置し、取組を進めます。 |
| 実施主体   | 名鉄海上観光船（株）<br>愛知県タクシー協会知多支部<br>海上タクシー運行事業者<br>南知多町                                                               |
| スケジュール | 令和7年度部会の設置 令和8年度から施策の検討、実施                                                                                       |

### 2-3 交通空白・不便地域における移動手段の確保

#### 重点施策

|        |                                                                                                                                                             |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 概要     | 海っ子バスのバス停から離れている交通空白・不便地域を対象に、住民ニーズに対応した新たな移動手段として自家用有償旅客運送事業などの実現性・有効性を検討し、地域と協働して導入を目指します。<br>日間賀島自家用有償旅客運送事業「ぐるりーバス」については、継続して運行し運行サービスの充実を図るための支援を行います。 |
| 実施主体   | 南知多町<br>レスクル（株）<br>日間賀島観光協会<br>地域住民                                                                                                                         |
| スケジュール | 令和7年度～8年度施策の検討・実証、令和9年度から施策の実施                                                                                                                              |

## 目標3 関係者の共創による利用を支える取組の構築

### 3-1 Ma a Sの構築

#### 重点施策

|        |                                                                                                                                                                                                                                   |
|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 概要     | <p>鉄道、海上交通、海っ子バス、タクシー、海上タクシー、レンタサイクル等及び町内施設などが連携したMa a Sを構築します。</p> <p>現行の電子チケット（QUICK RIDE、RYDE PASS）を活用してお得なクーポン付きの海っ子バス・高速船周遊チケットなどを発行し、電子チケットの利用拡大と利用促進に取組ます。</p> <p>バスロケーションシステム（BusGo）をMa a Sと連携するなどにより、利用拡大と利用促進に取組ます。</p> |
| 実施主体   | <p>南知多町</p> <p>名古屋鉄道（株）</p> <p>レスクル（株）</p> <p>名鉄海上観光船（株）</p> <p>南知多町観光協会</p>                                                                                                                                                      |
| スケジュール | 令和7年度実施内容の検討・実証、令和9年度から実施                                                                                                                                                                                                         |

### 3-2 利用環境の整備

#### 重点施策

|        |                                                                                                                                                                                                                     |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 概要     | <p>海っ子バス車内において、ICカードやスマートフォンを利用したキャッシュレス決済の導入を検討し実用化を図ります。</p> <p>海っ子バスを利用しやすい環境をつくるため、主要なバス停の上屋・ベンチなどを地域と協働して設置します。バス停の近くに店舗などがある場合には、店舗と協力して待合しやすい環境を確保します。</p> <p>公共交通を利用しやすくするため、パークアンドライド駐車場・駐輪場の設置を推進します。</p> |
| 実施主体   | <p>南知多町</p> <p>名古屋鉄道（株）</p> <p>レスクル（株）</p> <p>名鉄海上観光船（株）</p> <p>南知多町まちづくり協議会</p> <p>地域住民</p>                                                                                                                        |
| スケジュール | 令和7年度実施内容の検討、令和9年度から実施                                                                                                                                                                                              |

### 3-3 タウンミーティングの継続実施

|        |                                                                                                                                                             |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 概要     | <p>地域でタウンミーティングを開催し、住民に公共交通の運行状況について情報提供するとともに、利用者の立場からの意見を把握します。また、高齢者サロンでの意見交換など、住民からの意見把握の方法を工夫します。</p> <p>住民意見を踏まえ、地域公共交通ネットワークの改善を行い、利用増につなげていきます。</p> |
| 実施主体   | <p>南知多町</p> <p>地域住民</p>                                                                                                                                     |
| スケジュール | 令和7年度から実施                                                                                                                                                   |

### 3—4 公共交通利用促進イベントの実施

|        |                                                                                                                          |
|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 概要     | まちづくり協議会が主体となったバス乗車体験や、町民向けの利用促進の取組として実施している海っ子バス町民感謝デー（バス無料デー）など、様々なバス利用促進イベントを継続して実施します。各種イベントなどを契機に公共交通の利用促進を図っていきます。 |
| 実施主体   | 南知多町<br>まちづくり協議会<br>地域住民                                                                                                 |
| スケジュール | 令和7年度から実施                                                                                                                |

### 3—5 運転免許自主返納の促進

|        |                                                                                                                                                                                                                 |
|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 概要     | <p>町民アンケート調査によれば、運転免許を所有している人の約半数は、将来自主返納すると回答しています。</p> <p>本町では、高齢者による交通事故の減少を図るため、運転免許を自主返納した満65歳以上の町民を対象に、高齢者運転免許証自主返納支援事業を実施しています。支援は、海っ子バス1日乗車券12枚を1回に限り支給します。</p> <p>この事業のPR等により、運転免許自主返納の促進を行っていきます。</p> |
| 実施主体   | 南知多町<br>半田警察署<br>地域住民                                                                                                                                                                                           |
| スケジュール | 令和7年度から実施                                                                                                                                                                                                       |

## 事業スケジュール一覧

|    | 事業                           | 実施主体                                                              | 令和7年度 | 令和8年度  | 令和9年度 | 令和10年度 | 令和11年度 |
|----|------------------------------|-------------------------------------------------------------------|-------|--------|-------|--------|--------|
| 1  | 1-1<br>ニーズに対応した海っ子バスの形成      | 南知多町<br>レスクル（株）                                                   |       | 実施     |       |        |        |
| 2  | 1-2<br>交通結節点での乗継利便性の増進       | 名古屋鉄道（株）、<br>名鉄海上観光船（株）<br>南知多町<br>美浜町                            |       | 実施     |       |        |        |
| 3  | 1-3<br>環境に配慮した車両導入（交通GX）     | 南知多町<br>レスクル（株）                                                   |       | 更新時に実施 |       |        |        |
| 4  | 1-4<br>総合時刻表の作成、デジタルコンテンツの充実 | 南知多町                                                              |       | 実施     |       |        |        |
| 5  | 2-1<br>鉄道事業者との利用促進施策の展開      | 名古屋鉄道（株）<br>南知多町                                                  | 検討    | 実証     |       | 実施     |        |
| 6  | 2-2<br>タクシー、海上交通への利用促進の支援    | 名鉄海上観光船（株）<br>愛知県タクシー協会知多支部<br>海上タクシー会社<br>南知多町                   | 部会設置  | 検討、実施  |       |        |        |
| 7  | 2-3<br>交通空白・不便地域における移動手段の確保  | 南知多町<br>レスクル（株）<br>日間賀島観光協会<br>地域住民                               | 検討    | 実証     |       | 実施     |        |
| 8  | 3-1<br>Ma a Sの構築             | 南知多町<br>名古屋鉄道（株）<br>レスクル（株）<br>名鉄海上観光船（株）<br>南知多町観光協会             | 検討    | 実証     |       | 実施     |        |
| 9  | 3-2<br>利用環境の整備               | 南知多町<br>名古屋鉄道（株）<br>レスクル（株）<br>名鉄海上観光船（株）<br>南知多町まちづくり協議会<br>地域住民 | 検討    |        |       | 実施     |        |
| 10 | 3-3<br>タウンミーティングの継続実施        | 南知多町<br>地域住民                                                      |       | 実施     |       |        |        |
| 11 | 3-4<br>公共交通利用促進イベントの実施       | 南知多町<br>まちづくり協議会<br>地域住民                                          |       | 実施     |       |        |        |
| 12 | 3-5<br>運転免許自主返納の促進           | 南知多町<br>半田警察署<br>地域住民                                             |       | 実施     |       |        |        |

## 6 評価・改善方法

### 6-1 PDCAサイクルの構築

本町の公共交通を持続し、より利便性の高いものとしていくため、計画（Plan）、実行（Do）、評価（Check）、改善（Action）のPDCAサイクルを繰り返すことにより、改善を図っていきます。評価に当たっては、本計画で定めた数値目標と実績値の比較に加えて、各実施事業の実施状況・成果についても対象とします。

### 6-2 評価の方法及びスケジュール

#### （1）評価の実施主体

町内の公共交通のPDCAサイクルの実施は、南知多町公共交通活性化・再生協議会が中心になって行います。評価にあたっては、タウンミーティング等を通して住民の意見を把握することとし、これを評価に反映します。

#### （2）評価方法

##### ①数値目標達成状況の評価

計画の目標に定めた指標については、毎年、その達成状況を確認します。

数値目標は令和11年度の目標値となることから、中間年度の目標値は按分を基本とし、社会状況や町の動向等を勘案して評価します。達成状況が順調でないと判断される場合には、その原因を探り、改善策等を検討・実施します。

##### ②実施事業の評価

本計画に示した事業については、実施スケジュールに対して的確に実施しているかどうか、どのような実施効果があったか、改善すべき事項等について毎年度評価し、必要に応じて改善します。

#### （3）評価・改善のスケジュール

評価・改善は、下記のスケジュールで行います。

本計画の最終年度においては、本計画の評価を踏まえて次期計画を策定します。

## ■評価・改善のスケジュール

|                |                | 前計画期間          | 計画期間                        |  |        |  |                             |  |        |  | 次期計画期間   |
|----------------|----------------|----------------|-----------------------------|--|--------|--|-----------------------------|--|--------|--|----------|
|                |                | 令和6年度          | 令和7年度～10年度                  |  |        |  | 令和11年度                      |  |        |  | 令和12年度   |
| 計画・事業のPDCAサイクル | Plan<br>(計画)   | 地域公共交通計画の検討・策定 |                             |  |        |  | 次期計画の検討・策定                  |  |        |  |          |
|                | Do<br>(実施)     |                | 計画、事業の実施                    |  |        |  | 計画、事業の実施                    |  |        |  | 計画、事業の実施 |
|                | Check<br>(評価)  |                | ●バスOD調査<br>利用者アンケート         |  |        |  | ●バスOD調査<br>利用者アンケート         |  |        |  |          |
|                | Action<br>(改善) |                | 事業、目標達成状況の評価<br>↓<br>改善策の検討 |  |        |  | 事業、目標達成状況の評価<br>↓<br>改善策の検討 |  |        |  |          |
| 主な行事           |                |                | ■確保維持<br>改善計画               |  | ■第三者評価 |  | ■確保維持<br>改善計画               |  | ■第三者評価 |  |          |
| 協議会            |                |                | ●                           |  | ●      |  | ●                           |  | ●      |  |          |

※毎年の評価・改善結果により、最終年度でなくても計画の一部を修正することがあります。  
 ※協議会は、検討事項によっては、追加で開催することがあります。

## 6-3 評価・改善のためのデータ収集

数値目標については、毎年データ収集し評価します。

また、海っ子バス事業の持続可能性を検証するため、以下の指標データを毎年収集し評価します。

### ■海っ子バス事業の持続評価のためのモニタリング指標

| モニタリング指標                            | 現況及び目標         |             |                                                   |
|-------------------------------------|----------------|-------------|---------------------------------------------------|
|                                     | 現況（基準）<br>R6年度 | 目標<br>R11年度 | 設定方法・資料                                           |
| 海っ子バスの収支率                           | 41.4%          | 前年度より増加     | ・ 運送収入÷運送経費<br>（収入から運賃・定期券補助は除く）<br>・ 前年10月～当該年9月 |
| 海っ子バスの公的資金投入額<br>（町民一人当りのバス運行費用負担額） | 5,113円         | 前年度より減少     | ・ （運送経費－運送収入）÷人口（住民基<br>台帳9月末現在）<br>・ 前年10月～当該年9月 |

※令和6年度（全年10月～当該年9月）の町民一人当りのバス運行費用負担額

= 町負担額 79,942,618円 ÷ 町人口 15,636人 = 5,113円

※運送収入には補助金・広告収入を含まず。運送経費は委託料、臨時便、車両修理代、精算を含む

線)

## 1. 補助システムの概要(△)

| 系統名              |  | 運営主体 | 運行事業者   | 区間              | キロ程     | 運行回数   | 関係市町村        |
|------------------|--|------|---------|-----------------|---------|--------|--------------|
| 海っ子バス(南知多・美浜環状線) |  | 南知多町 | レスクル(株) | 師崎港～河和駅～内海駅～師崎港 | 48.5 km | 32.0 回 | 南知多町 美浜町 0 0 |
| 細系統              |  |      |         |                 | km      | 回      |              |
|                  |  |      |         |                 | km      | 回      |              |
|                  |  |      |         |                 | km      | 回      |              |

※「細系統」には、補助上同一系統とみなされている系統について、系統ごとの情報を記載(系統名、区間は他の系統と違いが分かるよう記載)

### 接続の状況(△□)

＜接続する系統＞

- 名古屋鉄道河和線
- 名古屋鉄道知多新線
- 名鉄海上観光船

＜接続される系統＞

### 模式図(△□)

## 2. R6年度の運行状況

| 事業実施の適切性       |                     | 《参考数値》 主要指標の推移(△) |      |     |     |     |         |
|----------------|---------------------|-------------------|------|-----|-----|-----|---------|
| 計画どおり運行されたか(△) |                     | 年度                | 2年度  | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度     |
| 評価             | 計画どおりか。そうでない場合は理由   | 年間利用者数【人】         |      |     |     |     | 271,044 |
| A              | 事業計画どおり運行回数が確保されている | 平均乗車密度(実績)        |      |     |     |     | 4.1     |
|                |                     | 輸送量               | (計画) |     |     |     | 49.6    |
|                |                     |                   | (実績) |     |     |     | 130.8   |
|                |                     | 収支率(実績)           |      |     |     |     | 41.39%  |

| 目標・効果達成状況                                                                                                    |            |                                    |                                                                                                                                                               |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 評価                                                                                                           | 目標の達成状況(△) |                                    | 運営主体の所見、理由分析、認識(△)                                                                                                                                            |
| B1                                                                                                           | 目標         | 213,000                            | 令和6年度より過去最大の路線再編を行い、新規路線となって生まれ変わった初年度の実績である。民間バス事業者が撤退し、その利用者を取り込みながら、さらに利用者増を目指し、目標を大きく上回った。前年度で撤退した民間路線バスの乗客を取り込み、更なる利用者増を目指しているが、路線再編に伴い発生した新たな課題も発生している。 |
|                                                                                                              | 実績         | 271,044                            |                                                                                                                                                               |
|                                                                                                              | 達成率        | 127.3%                             |                                                                                                                                                               |
|                                                                                                              | 要因         | 路線再編により、乗降者数の傾向が見えない中で目標値が設定されたため。 |                                                                                                                                                               |
|                                                                                                              |            |                                    | 市町村の所見、理由分析、認識(□)                                                                                                                                             |
| 運行事業者の所見等(△)                                                                                                 |            |                                    |                                                                                                                                                               |
| <p>海っ子バスとしては撤退した民間バス路線をフォローする形で路線再編を行い、多くの新たな利用者を獲得することができた。今後、行政や地域と連携し、より利便性のよい地域に根差したコミュニティバスを目指していく。</p> |            |                                    | 市町村名： 南知多町                                                                                                                                                    |
|                                                                                                              |            |                                    | 市町村名： 美浜町                                                                                                                                                     |
|                                                                                                              |            |                                    | 市町村名： 0                                                                                                                                                       |
|                                                                                                              |            |                                    | 市町村名： 0                                                                                                                                                       |

| 複数市町村を跨ぐ系統としての役割 |            |                                         |                                         |                                          |         |         |
|------------------|------------|-----------------------------------------|-----------------------------------------|------------------------------------------|---------|---------|
| 指標(市町村を跨いでの利用)   |            | 利用状況及び所見(△)                             | 住民の利用状況(□)                              |                                          |         |         |
| 市町村を跨ぐ利用者数(△)    | 11,145 人/月 | 町境を超えての病院や河和駅への利用者が多く、広域的な路線の役割を果たしている。 | 市町村名: 南知多町                              | 市町村名: 美浜町                                | 市町村名: 0 | 市町村名: 0 |
| 全利用者に占める率(△)     | 51.7 %     |                                         | 町境を超えての病院や河和駅への利用者が多く、広域的な路線の役割を果たしている。 | 本町内に所在する名鉄河和駅を利用する際の公共交通手段の一つとして活用されている。 |         |         |
| 特記事項             | 特に無し       |                                         |                                         |                                          |         |         |

| 《参考数値・情報》その他、運行改善や利用促進に参考となる数値・情報                                                          |                                                                                                |
|--------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 運営主体(断面輸送量、競合系統合算断面輸送量、主な停留所乗降者数等)(△)<br>・主な停留所乗降者数(一日あたり)<br>・師崎港:225人 ・内海駅:46人 ・河和駅:492人 | 沿線市町村(沿線の状況等、すべての沿線市町村一括記載)(□)<br>美浜町:名鉄河和駅一日平均乗車人員1,803人<br>美浜町:美浜町コミュニティバス 河和駅バス停一日平均乗降客数37人 |



3. R6年度の取組状況

| 直近の事業評価結果(Δ)                      |             | 運営主体の取組(Δ)                                                                | 市町村の取組(□)                                                                 |                                |         |         |
|-----------------------------------|-------------|---------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|---------|---------|
| A                                 | 事業評価を踏まえた取組 | ホームページ、広報誌を活用したPR、町民感謝デー等を実施した。地域団体と連携し小学生への乗り方教室を実施。                     | 市町村名： 南知多町                                                                | 市町村名： 美浜町                      | 市町村名： 0 | 市町村名： 0 |
| 改善点とした事項(Δ)                       |             | ホームページ、広報誌を活用したPR、高齢者への乗り方教室、タウンミーティングの開催、地元と連携した利用促進活動                   | ホームページ、広報誌を活用したPR、町民感謝デー等を実施した。地域団体と連携し小学生への乗り方教室を実施。                     | 機会のある毎に当該路線を含む公共交通利用を呼び掛けた。    |         |         |
| 関係者の連携等(Δ□)                       |             | R5.10から路線再編を実施したため、再編に対する評価を中心にタウンミーティングを行った。小中学生及び学生への補助制度を創設し、利用促進を図った。 | R5.10から路線再編を実施したため、再編に対する評価を中心にタウンミーティングを行った。小中学生及び学生への補助制度を創設し、利用促進を図った。 | 目的地に合わせ当該路線の利用が可能である旨等の周知に努めた。 |         |         |
| 毎月、運営主体と運行事業者で情報交換のための定例会を開催している。 | その他の        |                                                                           |                                                                           |                                |         |         |

4. 今後の課題

| 課題と認識している事項                                                                                                                         |  |                                                                                                  |                                                            |         |         |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|---------|---------|
| 運営主体(Δ)                                                                                                                             |  | 沿線市町村(□)                                                                                         |                                                            |         |         |
| 海っ子バスが環状線となったことから、内陸部の空白地対策等の実施がこれまで以上に強く求められており、自家用有償運送等の他施策の検討を進める必要がある。<br>電子チケットの利用率が低く、周遊観光利用が少ないことから、MaaSなどの情報提供方法を検討する必要がある。 |  | 市町村名： 南知多町                                                                                       | 市町村名： 美浜町                                                  | 市町村名： 0 | 市町村名： 0 |
|                                                                                                                                     |  | 海っ子バスが環状線となったことから、内陸部の空白地対策等を検討する必要がある。<br>電子チケットの利用率が低く、周遊観光利用が少ないことから、MaaSなどの情報提供方法を検討する必要がある。 | 引き続き鉄道、船舶等の関係機関と連携した利用促進の取組が必要である。また、広域的なMaaSの検討も必要であると考え。 |         |         |
| 大きな見直しを実施したため、利用者の声を集め、利用者増を目指して随時改善を図っていく。                                                                                         |  |                                                                                                  |                                                            |         |         |

5. 今後の取組

| 課題に対応した取組、その他の利便性の向上、利用促進の取組 |                                                                                                    |                                                                                            |                                                    |         |         |
|------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|---------|---------|
| 取組時期                         | 運営主体の取組(Δ)                                                                                         | 市町村の取組(□)                                                                                  |                                                    |         |         |
| R6年度、R7年度に行う取組               | ホームページ、広報誌を活用したPR、町民感謝デー等は継続実施。<br>タウンミーティング、高齢者サロンでの意見を通して、空白地対策の方法などを検討。<br>観光用周遊電子チケットの作成と情報提供。 | 市町村名： 南知多町                                                                                 | 市町村名： 美浜町                                          | 市町村名： 0 | 市町村名： 0 |
|                              |                                                                                                    | ホームページ、広報誌を活用したPR、町民感謝デー等は継続実施。タウンミーティング、高齢者サロンでの意見を通して、空白地対策の方法などを検討。観光用周遊電子チケットの作成と情報提供。 | 運行主体との連携を図り、可能な限りPRに協力し、地域住民や河和駅利用の観光客等の継続的な利用を促す。 |         |         |

注. 評価にB、Cがある系統(市町村にあっては、目標の達成状況に関しての評価がB、C)、又は平均乗車密度が3.0を下回る系統については、具体的な取組内容と収支率の目標値を記載すること。

6. 地域公共交通計画(地域公共交通網形成計画)に記載した補助系統の目標と評価

|      | 沿線市町村(□)                                                                              |           |         |         |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------|-----------|---------|---------|
| 目標   | 市町村名： 南知多町                                                                            | 市町村名： 美浜町 | 市町村名： 0 | 市町村名： 0 |
|      | 海っ子バス利用者314、351人                                                                      |           |         |         |
| 自己評価 | 令和6年度の実績値271,044人であり、未達成。ルートの大幅改善と運賃増により、想定よりも利用増に至らず。利用促進策を継続し、周遊チケットの販売などによる増加を目指す。 |           |         |         |

7. 補助系統に接続するフィーダー系統の利用・接続状況

| 沿線市町村(□)   |           |         |         |
|------------|-----------|---------|---------|
| 市町村名： 南知多町 | 市町村名： 美浜町 | 市町村名： 0 | 市町村名： 0 |
| フィーダー系統なし  |           |         |         |

通信欄 (この欄は関係者間で付記したいことや特記事項がある場合に利用する。県バス対策協議会事務局からの依頼事項についても記載する。)

※マクロを用いて集計しますので、セルの結合は絶対に変えないでください

## 中部様式

令和 6 年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価  
(及び地域公共交通計画の評価結果) 概要 (全体)

## 南知多町地域公共交通活性化・再生協議会 (南知多町)

平成 2 0 年 1 2 月 1 9 日設置

令和 3 年 3 月 3 1 日 南知多町地域公共交通計画策定

令和 5 年 6 月 3 1 日 令和 5 年度改訂版作成

(計画期間：令和 3 年 4 月～令和 7 年 9 月)

評価対象の地域公共交通確保維持事業

- ・ 地域間幹線系統確保維持国庫補助金
- ・ 地域公共交通調査事業

## ■地域の特性と背景

人口16,617人、高齢化率39.0%（R2 国勢調査）で今後も人口減少が進行。

## ■公共交通ネットワーク

- ・鉄道による河和駅と内海駅、島の玄関口である師崎港を交通結節点とし、その間を幹線系のバス2路線（海っ子バス豊浜線、知多バス師崎線）とフィーダー系のバス1路線（海っ子バス西海岸線）を運行していたが、知多バス撤退により令和5年10月より海っ子バス南知多・美浜環状線に再編。運賃は海っ子バス、知多バス師崎線共通のゾーン運賃から均一運賃に変更。

### 『公共交通の将来像』

町民の日常生活を支え、来訪者に選ばれるシームレスで便利な公共交通を実現する

### ●方針①シームレスな公共交通ネットワークの形成

- 目標1-1 交通結節点の利便性向上
- 目標1-2 新たな技術の活用等によりきめ細かなネットワークを構築

### ●方針2 利用しやすい選ばれる公共交通サービスの充実

- 目標2-1 利用しやすい仕組みの構築
- 目標2-2 まちづくりとの連携強化

### ●方針3 持続可能な公共交通の確保

- 目標3-1 持続可能な仕組みの構築
- 目標3-2 地域で支える仕組みの継続

### ■現行の公共交通ネットワーク（令和5年10月再編）



# 1.【Plan】協議会等を目指す地域公共交通の姿

3

【令和5年10月1日 路線再編 概要】

■知多バス師崎線の廃線方針が出されたことを契機に、路線再編の検討を開始。

## 課題

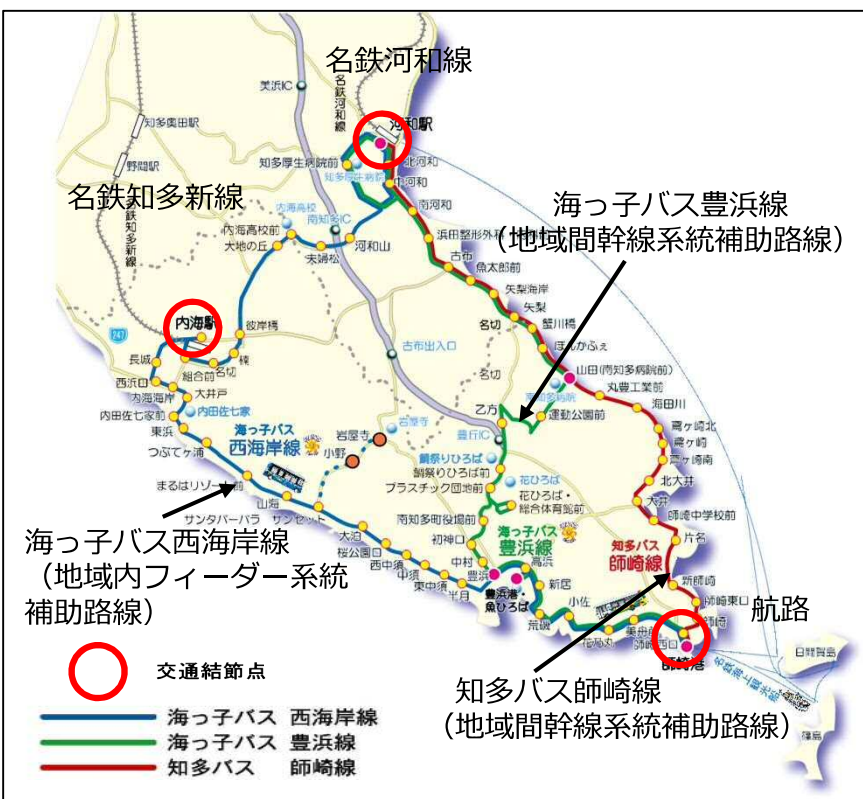
- 本数が少ない
- 乗継が悪い
- アクセスが不便
- 運行経費が高い

利便性は維持しつつ、運行経費を抑制する必要がある。重複路線があり無駄がある。

## 対策

- 路線の環状化
- 乗継不用
- 本数維持
- 運賃値上げ
- 学生補助制度（利用促進）

乗継なく全てのバス停へアクセス可能。  
運行開始以来、初の運賃改正（値上げ）。



## 2.【Do】 目標達成に向けた公共交通に関する主な具体的取組

4

| 取組                         | 概要                                             | 実施結果                                                                               | 考察                                                                                 |
|----------------------------|------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|
| ★海っ子バス南知多・美浜環状線（幹線補助路線）の運行 | 令和5年10月から再編。合わせて、運賃改定、利用促進策（学生、小中学生運賃補助事業）を実施。 | 令和5年度の海っ子バス豊浜線、西海岸線及び知多バス師崎線の利用者299,275人。令和6年度の海っ子バス南知多・美浜環状線は271,044人（前年比9.4%減。）。 | 環状線になったことによる所要時間増加（豊浜・師崎地区）、運賃増加により利用者数は減少。今後、キャッシュレス決済などの利便性増進を図るとともに、交通空白地対策を検討。 |
| 日間賀島における自家用有償旅客運送の実施       | 夏休み期間に観光客及び住民を対象に島内を循環運行（1日13便、1乗車100円）        | 令和6年度（7月～8月の37日間）の利用者8,775人（昨年度より174人増）                                            | 利用者は増加傾向であり、観光活性化に貢献。運行経費増により自己負担額が増加（R6年度は237,586円）のため、対策を検討。                     |
| タウンミーティングの実施               | 令和6年1月及び7月にそれぞれ5地域で実施。                         | 参加者数<br>令和6年1月 66名<br>令和6年7月 50名                                                   | 海っ子バスの再編に伴う意見を把握。今後、地域公共交通計画及び事業に反映。                                               |
| 町民感謝デーの実施                  | 産業まつり（R6.11.2）に海っ子バス無料券を配布                     | 42人が利用。前年度の84人（3日間252人の1日平均）よりも減少。                                                 | PR不足と推察。今年度作成される町のLINE活用などによるPRを検討。                                                |
| ★地域公共交通計画（案）の策定            | 現計画が令和7年9月で終了となるため、改訂版を策定。                     | 町民アンケート調査、高齢者サロンアンケート調査などを実施し、策定中。                                                 | 町民や観光客からの意見を踏まえ、計画に反映する。                                                           |



### 3.【Check】計画の目標の達成状況とその理由についての考察

5

#### 【基本方針①】

◎：目標達成、○：目標未達成だが昨年より改善、×：未達成

#### 目標 1－1 交通結節点の乗降者数

|               | 駅・バス停 | 計画時<br>(R2)人/日 | 目標             | 1年目<br>R3年度 | 2年目<br>R4年度 | 3年目<br>R5年度 | 4年目<br>R6年度 | 評価 | 考察                  |
|---------------|-------|----------------|----------------|-------------|-------------|-------------|-------------|----|---------------------|
| 乗車人員<br>鉄道    | 内海駅   | 644.5人         | 維持             | 450.5人      | 469.0人      | 486.0人      | 441.8人      | ×  | 名古屋直通便がなくなった影響と推察。  |
|               | 河和駅   | 2,038.2人       | 維持             | 1537.1人     | 1615.8人     | 1729.6人     | 1,803.3人    | ○  | 特急が1時間2便に増えた影響と推察。  |
| 乗降者数<br>海っ子バス | 内海駅   | 48.6人          | 30%増<br>(63人)  | 55.5人       | 67.8人       | 60.7人       | 46.6人       | ×  | 名鉄内海駅のダイヤ変更の影響と推察。  |
|               | 河和駅   | 248.1人         | 30%増<br>(323人) | 343.3人      | 349.6人      | 426.8人      | 492.3人      | ◎  | 目標達成。河和駅の便数増が影響と推察。 |
|               | 豊浜    | 36.8人          | 30%増<br>(48人)  | 40.5人       | 46.2人       | 47.6人       | 15.6人       | ×  | 旧豊浜線が無くなった影響と推察。    |
|               | 師崎港   | 129.9人         | 維持             | 204.0人      | 205.7人      | 225.2人      | 225.4人      | ◎  | 目標達成だが、伸びが小さい。      |
| 師崎港高速船利用者数    |       | 2,163.7人       | 維持             | 1736.7人     | 1808.2人     | 2,034.9人    | 2,096.9人    | ○  | 昨年度より増加。観光利用の回復。    |

※名鉄、高速船はR6年度→R5年度（1年づれる）

#### 目標 1－2 年間利用者数

| 交通機関名         | 計画時<br>(R2) | 目標               | 1年目<br>R3年度 | 2年目<br>R4年度 | 3年目<br>R5年度 | 4年目<br>R6年度 | 評価 | 考察                   |
|---------------|-------------|------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|----|----------------------|
| 海っ子バス<br>豊浜線  | 70,733人     | 20%増<br>314,351人 | 77,709人     | 80,565人     | 101,511人    | 271,044人    | ×  | 目標未達成かつ前年度よりも減少している。 |
| 海っ子バス<br>西海岸線 | 101,445人    |                  | 122,013人    | 132,578人    | 145,289人    |             |    |                      |
| 知多バス<br>師崎線   | 90,520人     |                  | 82,075人     | 69,719人     | 52,475人     |             |    |                      |
| 3路線合計         | 262,698人    |                  | 281,797人    | 282,862人    | 299,275人    |             |    |                      |
| 名鉄<br>海上観光船   | 1,017,003人  | 維持               | 792,708人    | 803,577人    | 917,230人    | 955,277人    | ○  | 目標未達成であるが増加。観光利用の回復。 |

### 3.【Check】計画の目標の達成状況とその理由についての考察

6

#### 目標2-1 公共交通利用者の満足度

| 交通機関名         | 計画時<br>(R2) | 目標  | 1年目<br>R3年度 | 2年目<br>R4年度 | 3年目<br>R5年度 | 3年目<br>R6年度 | 評価 | 考察                          |
|---------------|-------------|-----|-------------|-------------|-------------|-------------|----|-----------------------------|
| 海っ子バス<br>豊浜線  | 47.8%       | 50% | 64.0%       | 51.0%       | 54.0%       | 42.5%       | ×  | 環状線による所要時間増加、運賃増加により満足度が低下。 |
| 海っ子バス<br>西海岸線 | 55.6%       | 60% | 53.3%       | 52.2%       | 52.9%       |             |    |                             |

#### 目標2-2 海っ子バス土休日の1日平均利用者数

| 交通機関名         | 計画時<br>(R2) | 目標             | 1年目<br>R3年度 | 2年目<br>R4年度 | 3年目<br>R5年度 | 4年目<br>R6年度 | 評価 | 考察                                           |
|---------------|-------------|----------------|-------------|-------------|-------------|-------------|----|----------------------------------------------|
| 海っ子バス<br>豊浜線  | 164.8人      | 30%増<br>(214人) | 195.6人      | 193.7人      | 278.5人      | 595.5人      | ◎  | 知多バス師崎線の利用者を加味すると目標値569人。電子チケットなどの施策により目標達成。 |
| 海っ子バス<br>西海岸線 | 196.5人      | 30%増<br>(255人) | 248.4人      | 266.2人      | 292.3人      |             |    |                                              |
| 合計            | 361.3人      |                | 444.0人      | 459.9人      | 570.8人      |             |    |                                              |

#### 目標3-1 海っ子バス収支率

|     | 計画時<br>(R2) | 目標  | 1年目<br>R3年度 | 2年目<br>R4年度 | 3年目<br>R5年度 | 4年目<br>R6年度 | 評価 | 考察                        |
|-----|-------------|-----|-------------|-------------|-------------|-------------|----|---------------------------|
| 収支率 | 22.5%       | 30% | 22.5%       | 23.6%       | 28.5%       | 41.4%       | ◎  | 環状線への再編、運賃値上げにより向上。利用者は減。 |

#### 目標3-2 町の公共交通費用負担額

(運行経費以外の諸経費(情報システム経費等)を含む)

|       | 計画時 (R元) | 目標 | 1年目<br>R2年度 | 2年目<br>R3年度 | 3年目<br>R4年度 | 4年目<br>R5年度 | 評価 | 考察   |
|-------|----------|----|-------------|-------------|-------------|-------------|----|------|
| 費用負担額 | 102,361  | 維持 | 109,946     | 92,435      | 104,772     | 107,341     | ◎  | ほぼ維持 |

#### 目標3-3 タウンミーティングの開催回数、地域と連携した利用促進活動の開催回数

|               | 計画時<br>(R2) | 目標   | 1年目<br>R3年度 | 2年目<br>R4年度 | 3年目<br>R5年度 | 4年目<br>R6年度 | 評価 | 考察                         |
|---------------|-------------|------|-------------|-------------|-------------|-------------|----|----------------------------|
| タウンミー<br>ティング | 年間2回        | 年間2回 | コロナで<br>未実施 | 2回          | 2回          | 2回          | ◎  | 高齢者サロンでのアンケートを実施するなど、工夫した。 |

| 計画目標の現在の到達点                                                                                                                                                           | 今後の取組方針                                                                                                                                                                                                                                                        |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・海っ子バスは、環状線への再編により利用者数は減少。</li> <li>・鉄道、海上交通ともに観光利用増により利用者数は増加しているが、コロナ前までは戻らず。</li> </ul>                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・現行の小中学生・高校生・学生、高齢者、観光客中心の取組を継続。</li> <li>・電子チケット（回数券、定期券、一日券、クーポン付き一日券）の周知により利便性向上。</li> <li>・MaaS、キャッシュレス決済の導入、町のLINEでのPRなどを検討。</li> </ul> <p>⇒鉄道乗降者数、海上交通及び海っ子バスの利用増を目指す。<br/>策定中の地域公共交通計画（令和7年9月までに策定予定）の目標に反映。</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・海っ子バスの収支率は改善。</li> </ul>                                                                                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学生・高校生・学生、高齢者、観光客中心の施策を継続し利用者増を図る。</li> </ul> <p>⇒利用者増による収支率アップを目指す。</p>                                                                                                                                             |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・町の公共交通費用負担額は、運行当初の年間約2,000万円が12年経過して約5倍の約1億円に増加し、町の財政負担お軽減が課題であった。</li> <li>・環状線への再編と運賃値上げにより運行経費の町負担額は約7200万円に減少。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・海っ子バス南知多・美浜環状線による運行により運行経費削減。</li> <li>・運賃は現行のゾーン運賃から一律運賃に変更し値上げ。（160円・300円⇒400円均一）。</li> <li>・学生、小中学生の運賃を全額補助し、利用者負担軽減。</li> </ul> <p>⇒今後も財政負担の軽減に努め、持続可能性を高める。</p>                                                   |



## 5.直近2年間の二次評価の活用・対応状況

8

| 年度 | 二次評価結果                                                                                                                                                                                           | 事業評価結果の反映状況<br>(具体的対応内容)                                                                                                                 | 今後の対応方針                                                                                            |
|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 前回 | <p>【期待する取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長大路線として再編され、また、運賃体系も大きく変わった海っ子バスについては、引き続き、タウンミーティング等による地元の利用者の意見や声を参考とし、公共交通ネットワークとしての効果検証や分析、課題の確認など、フォローアップに努められることを期待します。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・町民アンケート調査、観光客WEBアンケート調査、海っ子バス利用者アンケート調査、タウンミーティング、高齢者サロン参加者アンケート調査により意見を把握、分析し、課題を整理。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題を踏まえ、地域公共交通計画の改訂に反映し、計画的に事業を実施する。</li> </ul>             |
|    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・また、観光客の利用と比べ、町内の短い区間の利用が想定される地元利用者においては負担が大きくなっている可能性もあるため、必要に応じ、町民など地元利用者に寄り添った施策の追加等に係る検討についても期待します。</li> </ul>                                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・上記により、町民の意見を把握。</li> </ul>                                                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域公共交通計画の改訂作業の中で、町民向けの事業を検討中。<br/>(キャッシュレス決済など)</li> </ul> |
|    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・再編後の海っ子バスが観光や日常生活の足として定着するよう、引き続き、観光客や住民への周知や利用促進に努められることを期待します。</li> </ul>                                                                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・海っ子バス無料デー、タウンミーティング、総合時刻表の配布などを実施。</li> </ul>                                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・上記及び観光客向けのMaaSの導入について検討。</li> </ul>                        |

※前回：6年3月21日

| 年度  | 二次評価結果                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 事業評価結果の反映状況<br>(具体的対応内容)                                                                                                                                   | 今後の<br>対応方針                                                                               |
|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| 前々回 | <p>【期待する取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ルート統合再編にあたり、運行ルートの変更・運賃の変更に関して住民への説明・周知を丁寧に行うこと。</li> <li>・新しい系統が通院・買物などの日常生活の足として定着すること、並びに観光需要の取り込みに向けた取組が地域と連携して行われること。</li> <li>・海っ子バスの再編にあたり生活交通としての持続可能性を高め、利便性の向上のため循環系統へ統合しており、今後課題となる福祉的な需要との役割分担や相互補完・連携、需要の分配について各担当部署にて十分連携を図られること。</li> </ul> <p>通学による需要について、学校・地域と連携が進むこと。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・タウンミーティング等で住民への説明・周知を実施。意見は、運行ダイヤ等に反映（高校生の通学に便利な特別便を追加設定）</li> <li>・教育委員会と連携し、小中学生、学生の利用促進に向けた運賃補助制度を実現</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通空白地対応について、福祉部局とも連携し、地域ニーズの把握、施策等を検討。</li> </ul> |

※前々回：令和5年3月10日

## ■評価・改善のスケジュール

|                |                | 前計画期間          |  | 計画期間                            |  |        |  |                                 |  |        |  |                                 |  | 次期計画期間 |            |              |        |
|----------------|----------------|----------------|--|---------------------------------|--|--------|--|---------------------------------|--|--------|--|---------------------------------|--|--------|------------|--------------|--------|
|                |                | 令和2年度          |  | 令和3年度                           |  | 令和4年度  |  | 令和5年度                           |  | 令和6年度  |  | 令和7年度                           |  |        |            |              |        |
| 計画・事業のPDCAサイクル | Plan<br>(計画)   | 地域公共交通計画の検討・策定 |  |                                 |  |        |  | 必要に応じて改訂                        |  |        |  | 必要に応じて改訂                        |  |        | 次期計画の検討・策定 |              |        |
|                | Do<br>(実施)     |                |  | 計画、事業の実施<br>●バスOD調査<br>利用者アンケート |  |        |  | 計画、事業の実施<br>●バスOD調査<br>利用者アンケート |  |        |  | 計画、事業の実施<br>●バスOD調査<br>利用者アンケート |  |        |            | 計画、事業の実施     |        |
|                | Check<br>(評価)  |                |  | 事業、目標達成状況の評価                    |  |        |  | 事業、目標達成状況の評価                    |  |        |  | 事業、目標達成状況の評価                    |  |        |            | 事業、目標達成状況の評価 |        |
|                | Action<br>(改善) |                |  | 改善策の検討                          |  |        |  | 改善策の検討                          |  |        |  | 改善策の検討                          |  |        |            | 改善策の検討       |        |
| 主な行事           |                |                |  | ■確保維持改善計画                       |  | ■第三者評価 |  | ■確保維持改善計画                       |  | ■第三者評価 |  | ■確保維持改善計画                       |  | ■第三者評価 | ■確保維持改善計画  |              | ■第三者評価 |
| 協議会            |                |                |  | ●                               |  | ●      |  | ●                               |  | ●      |  | ●                               |  | ●      | ●          |              |        |

## ■協議会等の開催状況

|             | 開催日         | 主な議題                                    |
|-------------|-------------|-----------------------------------------|
| 令和5年度第3回協議会 | 令和5年12月22日  | 地域公共交通確保維持改善事業の自己評価                     |
| 令和5年度第4回協議会 | 令和6年3月26日   | 令和6年度予算（案）、海っ子バスダイヤ改正                   |
| 令和6年度第1回協議会 | 令和6年6月18日   | 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金の認定申請<br>地域公共交通計画の策定方針 |
| タウンミーティング   | 令和6年7月8～18日 | 海っ子バス再編概要、公共交通に関する意見把握                  |
| 令和6年度第2回協議会 | 令和6年11月8日   | 実態調査結果と地域公共交通計画（案）の骨子                   |
| 令和6年度第3回協議会 | 令和7年1月10日   | 地域公共交通計画（案）の協議<br>地域公共交通確保維持改善に関する自己評価  |

中部様式  
(調査事業)

令和6年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（全体）

## 南知多町地域公共交通活性化・再生協議会 (南知多町)

平成20年12月19日設置

調査事業（計画策定） 令和7年9月 地域公共交通計画策定予定

## 調査の背景および必要性

■令和5年9月末で知多バス師崎線が撤退することになったため、町内の効率的な公共交通体系の構築を目指し、同年10月から海っ子バスの路線再編を実施（環状線に再編）。また、町の財政負担が海っ子バス運行当初と比較して約5倍の1億円となり町の財政負担が大きいことから、合わせて運賃見直し（値上げ）を実施し、持続可能な公共交通の構築を目指している。

■この海っ子バス再編による町民や利用者の評価をアンケート調査、タウンミーティングなどで把握し、その結果を反映するとともに、課題となっている海上交通の維持、通勤・通学や高齢者の移動の確保、観光振興や関係人口の構築に向けて観光客等にも便利な公共交通の確保に向けて、地域公共交通計画を策定することが必要。

## 公共交通ネットワークイメージ

## ■現行の公共交通ネットワーク（令和5年10月再編）



## 実施した調査およびその結果明らかになったこと

| 事業内容                                                                                | 結果概要                                                                                                                                                                |
|-------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>町民アンケート</b><br>町内在住15歳以上2,000人を抽出＋タウンミーティング参加者50人。<br>移動実態、改善要望、海っ子バス再編の評価などを質問。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 7月実施。回収数806票（回収率39%）。</li> <li>・ バス停からの距離、豊浜・豊丘の路線の復活、乙方・運動公園前に入り込む路線による所要時間増などの海っ子バスルート、電車・船と海っ子バスの乗継向上の意見が多い。</li> </ul> |
| <b>観光客WEBアンケート</b><br>過去に公共交通で観光に来た人を抽出。海っ子バス利用の有無と理由、希望するサービスなどを質問。                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 8月実施。回収数100票。</li> <li>・ 名鉄を利用して来ても、バスの存在を知らない人が一定数存在。他市町でお得な企画切符を利用している人が多く、本町でも要望が高い。</li> </ul>                         |
| <b>海っ子バス利用者アンケート</b><br>平日2日間調査。利用目的、バス運行の評価、希望するバスサービスなどを質問。                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6月実施。回収数527票（回収率39%）。</li> <li>・ 運行本数、運行時間帯ともに今のままが良いが多い。豊浜・豊丘・片名・師崎地区の利用者は、従前よりも河和駅までの所要時間が増加したため、不満が多い。</li> </ul>       |
| <b>高齢者サロン参加者アンケート</b><br>5か所のサロンで実施。外出時に困ることとその対応策などを質問。                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 7～8月実施。回答者92名。</li> <li>・ バス停まで遠く歩いていけない人が一定数いる。海っ子バスの内福寺への運行、旧豊浜線復活の意見あり。</li> </ul>                                      |
| <b>タウンミーティング</b><br>5地域で実施。地域公共交通の改善要望などをグループワーク。                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 7月実施。参加者50名。</li> <li>・ 海っ子バスの岩屋寺への運行、ルート改善要望、高齢者の運賃助成などの意見あり。</li> </ul>                                                  |

## 調査結果の地域公共交通計画への反映

### ■気兼ねなく利用でき、使いやすい海っ子バスの構築

海っ子バスが環状線になったことによるルート改善の要望（主に旧豊浜線復活、岩屋寺などへの運行、迂回ルートによる駅までの所要時間増の改善）及び鉄道・船との乗継についての不満が多いことから、海っ子バスネットワークの検討、鉄道・船とのダイヤ調整などを行う。

### ■海っ子バスに接続する移動手段の充実

海っ子バスのバス停まで遠いため利用しづらいという意見があることから、交通空白地における新たな移動手段の検討、導入を促進する。日間賀島ぐるりーバスの継続・充実を支援する。

海上タクシーの担い手確保、カーフェリー更新などの課題があるため、海上交通の利用促進策について、部会を設置して協議し取り組む。

鉄道利用促進に向け、鉄道と海っ子バスが連携した利用促進策を推進する。

### ■利用を支える取組の推進

町民、観光客が利用しやすくするための取組として、名鉄、高速船、海っ子バス、タクシー、海上タクシー、レンタサイクル及び町内施設が連携したMaaSの構築、キャッシュレス決済などの環境整備を行う。

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 7年 1月 日

協議会名: 南知多町地域公共交通活性化・再生協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持国庫補助金

| ①補助対象事業者等            | ②事業概要                                                                                                                                              | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況                                                                                                                                                                                                                                               | ④事業実施の適切性                                                      | ⑤目標・効果達成状況                                                                                                                                                                                              | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)                                                                                                                                                                  |
|----------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 【補助対象となる事業者名等の名称を記載】 | 【系統名・航路名・設備名、運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等及び公有民営方式車両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている場合、離島航路に係る確保維持事業において離島航路構造改革補助(調査検討の経費を除く。)を受けている場合は、その旨記載)】 | 【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通確保維持改善計画に反映させた上で事業を実施したかを記載】                                                                                                                                                                                                      | A・B・C<br>評価<br>【計画に基づく事業が適切に実施されたかを記載。計画どおり実施されなかった場合には、理由等記載】 | A・B・C<br>評価<br>【計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成されたかを、目標ごとに記載。目標・効果が達成できなかった場合には、理由等を分析の上記載】                                                                                                                      | 【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生活交通確保維持改善計画にどのように反映させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず記載すること。】<br>※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載                                       |
| レスクル株式会社             | 海っ子バス南知多・美浜環状線<br>(師崎港～河和駅～内海駅～師崎港)                                                                                                                | <p>・海っ子バスについては、引き続きタウンミーティング等により効果検証や分析、課題の確認などのフォローアップに努めること<br/>⇒町民アンケート調査、タウンミーティング等により意見を把握、分析し課題を整理した。</p> <p>・町民利用者に寄り添った施策の追加等に係る検討を期待<br/>⇒上記により町民の意見を把握した。キャッシュレス決済など、町民向けの事業を検討中。</p> <p>・観光客や住民への周知や利用促進に努めること<br/>⇒海っ子バス無料デー、タウンミーティング、総合時刻表の配布などを実施。</p> | A<br>評価<br>補助対象期間の開始日以来、運休・遅延等はなく、計画どおり適切に実施されている。             | A<br>評価<br><p>・海っ子バス利用者数は271,044人で目標(213,000人)達成。</p> <p>・収支率、公的負担額(約1億734万円)は、目標達成。</p> <p>【指標】<br/>運行回数 32回/日<br/>平均乗車密度(実績) 4.1<br/>輸送量(計画) 49.6<br/>(実績) 130.8<br/>収支率(計画) 30.0%<br/>(実績) 41.4%</p> | <p>・海っ子バスを環状線にしたことによる不満の声があるため、ネットワークの検討を行うとともに、電池チケットの周知、MaaS、キャッシュレス決済の導入、町のLINEでのPRなど、小中学生・高校生・学生・高齢者・観光客中心の施策を継続し、利用者増を目指す。</p> <p>・これらの検討、取組を次期地域公共交通計画及び生活交通確保維持改善計画に反映する。</p> |



# 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定に係る事業)

令和 7年 1月 日

協議会名:南知多町地域公共交通活性化・再生協議会

| ①事業の結果概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | ④事業実施の適切性   |                                                                                                                                              | ③生活交通確保維持改善計画又は<br>地域公共交通網形成計画等の計画策定に向けた方針                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 【事業内容及び結果概要を記載】                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | A・B・C<br>評価 | 【事業が適切に実施された(されている)かを記載。適切に実施されなかった(されていない)場合には、実施されなかった事項及び理由等記載】                                                                           | 【補助申請を行う補助対象事業名、事業内容、実施時期等を記載】                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| <p>○町民アンケート(町内在住15歳以上2,000人を抽出+タウンミーティング参加者50人。移動実態、改善要望、海っ子バス再編の評価などを質問。)</p> <p>・7月実施。回収数806票(回収率39%)。</p> <p>・バス停からの距離、豊浜・豊丘の路線の復活、乙方・運動公園前に入り込む路線による所要時間増などの海っ子バスルート、電車・船と海っ子バスの乗継向上の意見が多い。</p> <p>○観光客WEBアンケート(過去に公共交通で観光に来た人を抽出。海っ子バス利用の有無と理由、希望するサービスなどを質問。)</p> <p>・8月実施。回収数100票。</p> <p>・名鉄を利用して来ても、バスの存在を知らない人が一定数存在。他市町でお得な企画切符を利用している人が多く、本町でも要望が高い。</p> <p>○海っ子バス利用者アンケート(平日2日間調査。利用目的、バス運行の評価、希望するバスサービスなどを質問。)</p> <p>・6月実施。回収数527票(回収率39%)。</p> <p>・運行本数、運行時間帯ともに今のままが良いが多い。豊浜・豊丘・片名・師崎地区の利用者は、従前よりも河和駅までの所要時間が増加したため、不満が多い。</p> <p>○高齢者サロン参加者アンケート(5か所のサロンで実施。外出時に困ることとその対応策などを質問。)</p> <p>・7～8月実施。回答者92名。</p> <p>・バス停まで遠く歩いていけない人が一定数いる。海っ子バスの内福寺への運行、旧豊浜線復活の意見あり。</p> <p>○タウンミーティング(5地域で実施。地域公共交通の改善要望などをグループワーク。)</p> <p>・7月実施。参加者50名。</p> <p>・海っ子バスの岩屋寺への運行、ルート改善要望、高齢者の運賃助成などの意見あり。</p> | A<br>評価     | <p>・左記の実態調査、上位関連計画の把握、地域概況、公共交通の現況及び現行計画の評価を踏まえ、現段階で計画の方針、目標、実施施策の骨子を作成。今後、骨子を踏まえた内容の充実、評価改善方法を検討し、地域公共交通計画(案)を作成する。このように計画策定を適切に実施している。</p> | <p>・地域間幹線系統確保維持国庫補助金の補助申請を行う。</p> <p>・地域公共交通計画には、以下の事業を計画する予定。実施時期は現段階の予定。</p> <p>○ニーズに対応した海っ子バスの形成(令和7年度～11年度)</p> <p>○交通結節点での乗継利便性の増進(令和8年度～11年度)</p> <p>○環境に配慮した車両導入(車両更新時)</p> <p>○総合時刻表の作成(令和7年度～11年度)</p> <p>○鉄道事業者との利用促進施策の展開(令和7年度～11年度)</p> <p>○タクシー、海上交通への利用促進の支援(令和8年度～11年度)</p> <p>○交通空白・不便地域における移動手段の確保(令和7年度～11年度)</p> <p>○MaaSの構築(令和7年度～8年度)</p> <p>○利用環境の整備(令和8年度～9年度)</p> <p>○タウンミーティングの継続実施(令和7年度～11年度)</p> <p>○公共交通利用促進イベントの実施(令和7年度～11年度)</p> <p>○運転免許自主返納の促進(令和7年度～11年度)</p> |

## 事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和 7年 1月 日

|                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|-----------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 協議会名:                       | 南知多町地域公共交通活性化・再生協議会                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 評価対象事業名:                    | 地域間幹線系統確保維持国庫補助金                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 地域の交通の目指す姿<br>(事業実施の目的・必要性) | <p>(1) 目指すべき将来像 『町民の日常生活を支え、来訪者に選ばれるシームレスで便利な公共交通を実現する』<br/>         既存の鉄道・バス・タクシー・航路の利用促進に努めるとともに、これらの特徴を活かしながら、MaaSの取組、自動運転等の新たな技術の活用、グリーンスローモビリティ等の新たな運行形態の導入等により、シームレスで利便性の高い公共交通を確保します。<br/>         また、町民や交通事業者等の関係者と協働の取組を進め、町民の日常生活を支えるとともに、来訪者にも選択していただける持続性のある公共交通の構築を目指します。</p> <p>(2) 将来像の実現に向けた方針と目標<br/>         将来像の実現に向け、次の3つの方針と6つの目標で施策を推進します。<br/>         ●方針1 シームレスな公共交通ネットワークの形成<br/>           目標1-1 交通結節点の利便性向上<br/>           目標1-2 新たな技術の活用等によりきめ細かなネットワークを構築<br/>         ●方針2 利用しやすい選ばれる公共交通サービスの充実<br/>           目標2-1 利用しやすい仕組みの構築<br/>           目標2-2 まちづくりとの連携強化<br/>         ●方針3 持続可能な公共交通の確保<br/>           目標3-1 持続可能な仕組みの構築<br/>           目標3-2 地域で支える仕組みの継続</p> <p>(3) 事業実施の必要性<br/>         上記の方針と目標に基づいて各種事業を計画的に実施し、PDCAサイクルによる評価改善を繰り返すことによって、将来像の実現を目指します。</p> |

## 事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和 7年 1月 日

|                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-----------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 協議会名:                       | 南知多町地域公共交通活性化・再生協議会                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 評価対象事業名:                    | 調査事業(計画策定)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 地域の交通の目指す姿<br>(事業実施の目的・必要性) | <p>(1)事業実施の目的と必要性<br/>本町の公共交通は、鉄道、海っ子バス、航路及びタクシーで構成されており、通勤・通学や高齢者の移動に不可欠な公共交通の維持、利便性の向上が課題となっています。また、観光振興、関係人口の構築に向け、観光客等にも便利な公共交通の確保が求められています。こうした課題の解決を目的として、上位の南知多町総合計画や関連する計画との整合性を図りながら、令和5年10月に実施した海っ子バス再編に対する町民の評価をアンケート調査、タウンミーティングなどで把握するとともに、その結果を反映した地域公共交通計画を定めます。</p> <p>(2)地域交通の目指す姿(案)<br/>『みんなが望み、選ばれる地域交通のあるまちをみんなでつくる』</p> <p>(3)基本目標(案)<br/>①気兼ねなく利用でき、使いやすい海っ子バスの構築<br/>②海っ子バスに結節する移動手段の充実<br/>③関係者の共創による利用を支える取組の構築</p> |

## 町民感謝デーの利用状況について

町民感謝デー（無料デー）の利用状況につきましては下記のとおりです。

## 【利用切符枚数】

| 路線            | 券種 | 利用枚数       |                      |            |
|---------------|----|------------|----------------------|------------|
|               |    | R4.11.6(日) | R5.10.7(土)～9(月祝)     | R6.11.2(土) |
| 海っ子バス         | 大人 | 45         | 232                  | 40         |
|               | 小人 | 9          | 20                   | 2          |
| 知多バス<br>(師崎線) | 大人 | 31         | —                    | —          |
|               | 小人 | 0          | —                    | —          |
| 合 計           | 大人 | 76         | 232<br>(平均 77.3 人/日) | 40         |
|               | 小人 | 9          | 20<br>(平均 6.7 人/日)   | 2          |

## 【内容】

南知多町コミュニティバス『海っ子バス』は、南知多町地域公共交通網形成計画において公共交通の将来像を「町民の日常生活を支えるとともに観光客等の来街者にも便利な公共交通を、関係者の協働の取り組みによって実現する」と設定してあります。しかし、OD調査等の結果から生活交通としての利用が低いことから、住民の方に乗ってもらえる機会をつくり、今後の利用促進を図るため、「海っ子バス町民感謝デー」を以下のとおり実施しました。

1. 実施日  
令和5年11月2日（土）  
※南知多町産業まつり
2. 対象者  
南知多町の住民
3. 実施内容  
1日券（町民感謝デー用）を全戸配布（広報と一緒に）により配布する。  
また、防災交通課においても希望者に配布するものとする。
4. 周知方法  
ホームページ、チラシ等で周知
5. 費用負担  
料金箱への着札において1日券と同じ清算をするものとし、費用の負担は全額南知多町の負担とする。